6-1-12 植物の生育及び植生の状況

1. 植物相の状況

植物相の状況については、既存資料調査を行い整理した。

(1) 文献調査

対象事業実施区域及びその周辺の植物相の状況について、既存資料を整理した。 確認した文献等は、表6-1.24に示すとおりである。

表 6-1.24 植物種の確認文献等

	文 献 名	整理の対象とした種
А	「千葉県の保護上重要な野生生物 -千葉県レッドデータブックー植物・菌類編 2009 年改訂版」 (2009 年 3 月 千葉県環境生活部自然保護課)	調査対象とした野生植物のうち千葉市若葉区、中央区、稲毛区、緑区、佐倉市、四街道市、八街市で確認された種(海域及び沿岸部のみで確認された種及び「千葉県の保護上重要な野生生物ー千葉県レッドデータブックー植物・菌類編 2009 年改訂版」または「千葉市の保護上重要な野生生物ー千葉市レッドリストー」で消息不明・絶滅生物に指定されており、かつその他の文献で生育が確認されていない種については除いている)
В	「千葉市の保護上重要な野生生物 -千葉市レッドリストー」 (平成 16(2004)年 5 月 千葉市環境局環境保全部 環境保全推進課)	調査対象とした野生植物のうち千葉市で確認された種(海域及び沿岸部のみで確認された種及び「千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブックー植物・菌類編(2009年改訂版)」または「千葉市の保護上重要な野生生物-千葉市レッドリストー」で消息不明・絶滅生物に指定されており、かつその他の文献で生育が確認されていない種については除いている)
С	「いきものログ」 ^{注)} (環境省 生物多様性センターホームページ)	調査対象とした野生植物のうち千葉市若葉区、中央区、緑区、佐倉市、八街市で確認された種(海域及び沿岸部のみで確認された種及び「千葉県の保護上重要な野生生物一千葉県レッドデータブックー植物・菌類編(2009年改訂版)」または「千葉市の保護上重要な野生生物一千葉市レッドリストー」で消息不明・絶滅生物に指定されており、かつその他の文献で生育が確認されていない種については除いている)

注)稲毛区及び四街道市では、調査は実施されていない。

2. 注目すべき種の状況

文献調査で確認された種について、国、千葉県、千葉市及び各自治体が指定する選定根拠 に基づき注目すべき種の指定状況を整理した。

(1)選定根拠・基準

注目すべき植物種の選定根拠は表6-1.25に、選定基準は表6-1.26に示すとおりである。

表6-1.25 注目すべき植物種の選定根拠

		選定根拠	選定基準
	1	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号)	・特別天然記念物(特天) ・国指定天然記念物(国天)
	2	「千葉県文化財保護条例」(昭和 30 年 3 月 29 日 条例第 8 号)	・県指定天然記念物(県天)
法令 による 指定	3	「千葉市文化財保護条例」(昭和33年10月7日 条例第18号) 「佐倉市文化財保護条例」(昭和51年3月29日 条例第8号) 「四街道市文化財の保護に関する条例」(昭和46年6月17日 条例第12号) 「八街市文化財保護に関する条例」(昭和49年9月14日 条例第25号)	• 市指定天然記念物(市天)
	4	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」 (平成4年6月5日 法律第75号)	・国内希少野生動植物種(国内)・国際希少野生動植物種(国際)・特定国内希少野生動植物種(特定)・緊急指定種(緊急)
	(5)	「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」 (平成 29 年 3 月 31 日改訂 環境省)	 ・絶滅 (EX) ・野生絶滅 (EW) ・絶滅危惧 I 類 (CR+EN) ・絶滅危惧 I A 類 (CR) ・絶滅危惧 I B 類 (EN) ・絶滅危惧 II類 (VU) ・準絶滅危惧 (NT) ・情報不足 (DD) ・地域個体群 (LP)
文献 による 指定	6	「千葉県の保護上重要な野生生物 一千葉県レッドリストー植物・菌類編(2017 年改訂版)」 (2017 年 3 月 - 千葉県環境生活部自然保護課)	 ・消息不明・絶滅生物 (X) ・野生絶滅生物 (EW) ・最重要保護生物 (A) ・重要保護生物 (B) ・要保護生物 (C) ・一般保護生物 (D) ・保護参考雑種 (RH)
	7	「千葉市の保護上重要な野生生物-千葉市レッドリストー」 (平成 16(2004)年 5 月 - 千葉市環境局環境保全部 - 環境保全推進課)	・消息不明・絶滅生物(X)・最重要保護生物(A)・重要保護生物(B)・要保護生物(C)

表6-1.26 注目すべき植物種の選定基準

	選定基準	評価基準
<u> </u>		
(1)	特別天然記念物	国指定天然記念物のうち特に重要な記念物について指定する。
_	国指定天然記念物	国指定文化財のうち、植物(自生地を含む。)で我が国にとって学術上価値の高いもの。
2	県指定天然記念物	県指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物(自生地を含む。)及び地質鉱物(特異な自然の現象の生じている土地を含む。)で県にとって学術上価値の高いもの。
3	市指定天然記念物	市指定文化財のうち、植物(自生地を含む。)で市にとって学術上価値の高いもの。
	国内希少野生動植物種	【その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で
	国内布罗斯王斯恒初僅	定めるもの。
	国際希少野生動植物種	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種 (国内希少野生動植物種を除く。)であって、政令で定めるもの。
4	特定国内希少野生動植物種	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう。 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること。 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと。
ì	取	環境大臣が、国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存
	緊急指定種	を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定する種。
	絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
	野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下でのみ存続している種。
	絶滅危惧 I 類(CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種。
	絶滅 絶滅危惧 I A 類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
5	危惧 絶滅危惧 I B 類 (EN)	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
		絶滅の危険が増大している種。
	準絶滅危惧(NT)	存続基盤が脆弱な種。
	情報不足(DD)	評価するだけの情報が不足している種。
	地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
	消息不明・絶滅生物 (X)	かつては生息・生育が確認されていたにもかかわらず、近年長期(およそ 50 年間)にわたって確実な生体の発見情報がない、千葉県から絶滅した可能性の強い生物。
	野生絶滅生物 (EW)	かつては千葉県に生育していた生物のうち、野生・自生では見られなくなってしまったものの、千葉県の個体群の子孫が飼育・栽培などによって維持されているもの。特に埋土種子や埋土胞子などから再生した個体がありながら、本来の自生地では環境の変化によって生育が維持できない状態の生物。
	最重要保護生物(A)	個体数が極めて少ない、生育環境が極めて限られている、生育地のほとんどが環境改変の危機にある、などの状況にある生物。放置すれば近々にも千葉県から絶滅、あるいはそれに近い状態になるおそれがあるもの。
6	重要保護生物(B)	個体数がかなり少ない、生育環境がかなり限られている、生育地のほとんどで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、近い将来カテゴリーA への移行が必至と考えられるもの。
	要保護生物(C)	個体数が少ない、生育環境が限られている、生育地の多くで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、将来カテゴリーBに移行することが予測されるもの。
	一般保護生物(D)	個体数が少ない、生育環境が限られている、生育地の多くで環境改変の可能性がある、等の 状況にある生物。放置すれば個体数の減少は避けられず、自然環境の構成要素としての役割 が著しく衰退する可能性があり、将来カテゴリーCに移行することが予測されるもの。
	保護参考雑種 (RH)	自然界において形成されることが稀な雑種であって、個体数が著しく少なく、分布地域および生育環境が著しく限定されているもの。
	消息不明·絶滅生物 (X)	かつては生息・生育が確認されていたにもかかわらず、近年長期にわたって確実な生存情報がなく、千葉市から絶滅した可能性の高い生物。
	最重要保護生物(A)	個体数が極めて少ない、生息・生育環境が極めて限られている、生息・生育地のほとんどが 環境改変の危機にある、などの状況にある生物。放置すれば近々にも千葉市から絶滅、ある いはそれに近い状態になるおそれがあるもの。
7	重要保護生物(B)	個体数がかなり少ない、生息・生育環境がかなり限られている、生息・生育地の多くで環境 改変の可能性が高い、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、 近い将来カテゴリーAへの移行が必至と考えられるもの。
	要保護生物(C)	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、将来カテゴリーBまたはAに移行することが予測されるもの。

注)表中の①~⑦は、表 6-1.25 に示した法令、文献番号と一致している。

(2) 文献調査により確認された注目すべき種

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている種のうち注目すべき植物種は、表 $6-1.27(1)\sim(11)$ に示すとおり106科439種である。

表6-1.27(1) 注目すべき植物種の状況

1 マツバラン科 マツバラン VU A 2 ヒカゲノカズラ科 ヒカゲノカズラ C グ 3 イワヒバ科 カタヒバ C グ 4 ミズニラ科 ミズニラ VU が グ 5 ハナヤスリ科 オオハナワラビ B B アカハナワラビ C F アカハナワラビ C F アカハナワラビ C F アカハナワラビ C F アカハナマスリ F T T T T T T T T T T T T T T T T T T	NT.	±l b					指定状	沈		
2 ヒカゲノカズラ科 ヒカゲノカズラ C) 3 イワヒバ科 カタヒバ C) 4 ミズニラ科 ミズニラ WU 月 5 ハナヤスリ科 オオハナワラビ 月 B B 日 7 アカハナワラビ 月 C 目 日 8 9 日の	No.	科名	種名	1	2	3	4	(5)	6	7
3 イワヒバ科 カタヒバ C 月 4 ミズニラ科 ミズニラ VU 月 5 ハナヤスリ科 オオハナワラビ C 月 7 8 月	1	マツバラン科	マツバラン					VU	A	
4 ミズニラ科 ミズニラ WU F 5 ハナヤスリ科 オオハナワラビ B 7 B サガホノナツノハナワラビ C E 7 B D D C E 8 サガホノナツノハナワラビ C E C E E C E E D C E E E D C E	2								С	X
5 ハナヤスリ科 オオハナワラビ B 6 アカハナワラビ B 7 B C E 8 フュノハナワラビ C E 9 10 コレーハナヤスリ E C E 11 12 ヒロハハナヤスリ C E E 13 キジノオシダ科 オオキジノオ C E 14 ウラジロ科 ウラジロ C E 15 コケシノブ科 ウラジロ C E 16 コバノイシカグマ科 カウシフランタ RH D Y 17 クジャクフモトシダ RH RH E 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C Y 19 イノモトソウ科 アマクサシダ R E 20 アングサンダ E E 21 マツザカシダ A A 22 チャセンシダ科 シシガシラ A A 24 シシガシラ科 シシガンラ E 25 オンダ科 オオカナワラビ E C 26 アンダナライシダ C C <td>3</td> <td>イワヒバ科</td> <td>I I</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>С</td> <td>A</td>	3	イワヒバ科	I I						С	A
6 アカハナワラビ B 7 8 9 ナガホノナツノハナワラビ C 10 コレコハナヤスリ E 11 コトヤスリ E 12 セロハハナヤスリ C 13 キジノオシダ科 オオキジノオ C 14 ウラジロ科 ウラジロ C 15 コケシノブ科 ウチワゴケ C 16 コバノイシカグマ科 オウレンシダ D 17 クジャクフモトシダ RH 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C 19 イノモトソウ科 アマクサシダ F 20 オオバノハチジョウシダ F 21 マツザカシダ F 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 マリトラノオ A 24 シシガシラ科 シシガシラ科 A 25 オンダ科 オオカナワラビ F 26 アンダ科 アンダイシダ C 27 アンダ科 アンダインテンダインテンダインテンダインテンダインテンダインテンダインテンダイン	4							VU		A
7 8 9 ナガホノナツノハナワラビ C E 10 コロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5	ハナヤスリ科	オオハナワラビ							С
8 フユノハナワラビ (0 10 10 コヒロハハナヤスリ E 11 コハナヤスリ E 12 ヒロハハナヤスリ C E 13 キジノオシダ科 オオキジノオ C E 14 ウラジロ科 ウラジロ (0 C E 15 コケシノブ科 ウチワゴケ C E 16 コバノイシカグマ科 オウレンシダ D Y 17 クジャクフモトシダ RH RH 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C Y 19 イノモトソウ科 アマクサシダ E E 20 オオバノハチジョウシダ E E 21 マツザカシダ E E 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A A 24 シシガシラ科 シシガシラ科 A A A 25 オンダ科 オオカナワラビ A A C A 26 アンダクトライシダ C C C A A A C 27 アンダイシシグタ C C C <td< td=""><td>6</td><td></td><td>アカハナワラビ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>В</td><td></td></td<>	6		アカハナワラビ						В	
9 ナツノハナワラビ C 目 10 11 11 コハナヤスリ E 12 ヒロハハナヤスリ C 目 13 キジノオシダ科 オオキジノオ C 目 14 ウラジロ科 ウラジロ C 月 15 コケシノブ科 ウチワゴケ C 月 16 コバノイシカグマ科 オウレンシダ D り 17 クジャクフモトシダ RH 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C り 19 イノモトソウ科 アマクサシダ F 20 オオバノハチジョウシダ F 21 マツザカシダ F 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 マツザカシダ F 24 シシガシラ科 シシガシラ F 25 オンダ科 オオカナワラビ F 26 アンダクナライシダ C C 27 アンダクナライシダ C C	7								С	В
10	8									С
11	9		ナツノハナワラビ						С	В
12	10		コヒロハハナヤスリ							В
13 キジノオシダ科 オオキジノオ C 14 ウラジロ科 ウラジロ C 15 コケシノブ科 ウチワゴケ C A 16 コバノイシカグマ科 オウレンシダ D Y 17 クジャクフモトシダ RH C Y 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C Y 20 オイバノハチジョウシダ A A 21 マツザカシダ E 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 コタニワタリ A A 24 シシガシラ科 シシガシラ A A 25 オシダ科 オオカナワラビ A A 26 アンゴクナライシダ C C 27 ハカタシダ E	11		コハナヤスリ							В
14 ウラジロ科 ウラジロ (0 15 コケシノブ科 ウチワゴケ C A 16 コバノイシカグマ科 オウレンシダ D Y 17 クジャクフモトシダ RH C Y 18 ミズワラビ科 クジャクンダ C Y 19 イノモトソウ科 アマクサシダ A A 20 オオバノハチジョウシダ F A A 21 マツザカシダ F A A A 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A <t< td=""><td>12</td><td></td><td>ヒロハハナヤスリ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>С</td><td>В</td></t<>	12		ヒロハハナヤスリ						С	В
15 コケシノブ科 ウチワゴケ C A 16 コバノイシカグマ科 オウレンシダ D Y 17 クジャクフモトシダ RH 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C Y 19 イノモトソウ科 アマクサシダ A A 20 オオバノハチジョウシダ E A A 21 マツザカシダ E A A 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A A A 23 コタニワタリ A A A 24 シシガシラ科 シシガシラ A A 25 オンダ科 オオカナワラビ A A 26 アンゴクナライシダ C C 27 ハカタシダ E	13	キジノオシダ科	オオキジノオ						С	
16 コバノイシカグマ科 オウレンシダ D Y 17 クジャクフモトシダ RH 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C Y 19 イノモトソウ科 アマクサシダ A 20 オオバノハチジョウシダ A A 21 マツザカシダ A A 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A A 23 コタニワタリ A A 24 シシガシラ科 シシガシラ A A 25 オシダ科 オオカナワラビ C 26 アンゴクナライシダ C C 27 アカタシダ E	14	ウラジロ科	ウラジロ							С
17 クジャクフモトシダ RH 18 ミズワラビ科 クジャクシダ C グリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15		ウチワゴケ						С	A
18 ミズワラビ科 クジャクシダ C グラックシダ 19 イノモトソウ科 アマクサシダ A 20 オオバノハチジョウシダ E 21 マツザカシダ E 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 コタニワタリ A クリカタンダ 24 シシガシラ科 シシガシラ A クリカタシダ 25 オンダ科 オオカナワラビ アンゴクナライシダ C 27 ハカタシダ E	16	コバノイシカグマ科	オウレンシダ						D	X
19 イノモトソウ科 アマクサシダ A 20 オオバノハチジョウシダ A 21 マツザカシダ E 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 コタニワタリ A Y 24 シシガシラ科 シシガシラ A Y 25 オンダ科 オオカナワラビ C C 26 アカタシダ E E	17		クジャクフモトシダ						RH	
20 オオバノハチジョウシダ A 21 マツザカシダ E 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 コタニワタリ A Y 24 シシガシラ科 シシガシラ A Y 25 オンダ科 オオカナワラビ A A Y 26 アンゴクナライシダ C <td< td=""><td>18</td><td>ミズワラビ科</td><td>クジャクシダ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>С</td><td>X</td></td<>	18	ミズワラビ科	クジャクシダ						С	X
21 マツザカシダ E 22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 コタニワタリ A X 24 シシガシラ科 シシガシラ E 25 オシダ科 オオカナワラビ E 26 ナンゴクナライシダ C 27 バカタシダ E	19	イノモトソウ科	アマクサシダ							A
22 チャセンシダ科 ヌリトラノオ A 23 コタニワタリ A タ 24 シシガシラ科 シシガシラ A タ 25 オンダ科 オオカナワラビ A <	20		オオバノハチジョウシダ							A
23 コタニワタリ A	21		I to the second							В
24 シシガシラ科 シシガシラ A 25 オシダ科 オオカナワラビ A 26 ナンゴクナライシダ C 27 ハカタシダ E	22	チャセンシダ科							A	
25 オシダ科 オオカナワラビ A 26 ナンゴクナライシダ C 27 ハカタシダ E	23		コタニワタリ						A	X
26 ナンゴクナライシダ C 27 ハカタシダ E	24		シシガシラ							A
27 ハカタシダ E	25	オシダ科								A
	26		ナンゴクナライシダ						С	
28 ミドリカナワラビ A A	27		ハカタシダ							В
	28		ミドリカナワラビ						A	
29 オニカナワラビ C	29		オニカナワラビ						С	
30 キョスミヒメワラビ A	30		キヨスミヒメワラビ							A
	31									В
									С	A
	33									A
	34								D	A
7.7.7	35								C	A
36 オオクジャクシダ C	36								C	
37 マルバベニシダ	37		マルバベニシダ							A
	38								D	A
39 ギフベニシダ C A	39		ギフベニシダ						С	A

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(2) 注目すべき植物種の状況

No. 科名 機名 ① ② ③ ① ⑥ ⑥ ⑥ ① ② ③ ① ⑥ ⑥ ⑥ ① ② ③ ① ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ① ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ② ⑥ ⑥ ② ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ② ② ③ ⑥ ⑥ ⑥ ② ⑥ ⑥ ◎ ⑥ ◎ ⑥ ② ⑥ ⑥ ◎ ⑥ ◎ ⑥ ◎ ⑥ ◎	.,	A) b	任力				指定状	況		
41 42 43 44 44 45 46 46 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47	No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
42 43 44 45 46 47 47 48 49 49 49 49 49 49 49	40	オシダ科	エンシュウベニシダ						С	
43 44 A A A B A B <td>41</td> <td></td> <td>イヌイワイタチシダ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td>	41		イヌイワイタチシダ						A	
44	42								С	
15	43		タニヘゴ						A	
46 47 センショウモノデ C X 48 サイゴクイノデ D D 49 イグモドキ C A 50 シュウモンジシグ A A 51 メシグ科 カラクサイヌワラビ A X 53 スリワラビ B B 54 タニイヌワラビ A X 55 ヒロハイヌワラビ B B 56 タカオシケチシダ D A 57 ヒカゲワラビ D X 59 セカゲワラビ C X 60 サージボン科 マメヅタ B B 62 セメノキシノブ C A 63 オニシカグデングラ A A A 64 ボンジソウ科 デンジソウ EN B A A 65 サンショウモ科 サンショウモ科 D C C A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ C R C A A 67 ヒノキ科 ネズ D C C 68 オオオシマハイネズ D C D C 70 ヤナギ科 キッス・ナギャナギ D D C 73 アカシデ D B B 74 カシワデデー D B B	44		ハコネオオクジャク						RH	
### サカゲイノデ	45								D	
48 49 10 10 10 10 10 10 10 1	46		イワシロイノデ						С	X
49 イノデモドキ C A 50 ジュウモンジシダ A 51 メシダ科 カラクサイヌワラビ A 52 メシダ科 カラクサイヌワラビ B 53 ターイヌワラビ B 55 ターイヌワラビ A X 65 サテシンダ D 57 大きシグラジグ A A 59 大きカケラデング A A 60 キョタキシグ A A 61 ウラボシ科 マメゾタ B 62 セノキシノブ C A 63 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 64 デンジソウ科 サンショウモ科 EN B A 66 アカウモ科 サンショウモ科 C C 67 ヒノキ科 ネズ C C 68 オボンマハイネズ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 D C 70 ヤナギ科 D C 73 カンノキ D B 76 アカシデ D B 77 ブナ科 カシワ C C 77 ブナ科 カシワ <td>47</td> <td></td> <td>サイゴクイノデ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D</td> <td></td>	47		サイゴクイノデ						D	
50 ジュウモンジシダ A A 51 メシグ科 カラクサイヌワラビ C X 53 カラクサイヌワラビ B B 54 クニイヌワラビ A X 55 セロハイヌワラビ B B 56 タカオシケチシダ D A 57 大きシカシダ D A 60 オニセカゲワラビ D X 60 キョタキシダ A A 60 ヤラボシ科 マメヅタ B B 62 セメキシノブ C A 63 インジソウ科 デンジソウ EN B 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ科 C A C A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ C C A C C A 67 ヒノキ科 オニグルミ D C C A A A A A A A A A A A A A A A <td>48</td> <td></td> <td>サカゲイノデ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td>	48		サカゲイノデ						A	
51 ヒメカナワラビ A A 52 メシダ科 カラクサイヌワラビ B 53 タリワラビ A X 55 セロハイヌワラビ A X 56 クカオシケチシダ D A 58 セカゲワラビ D X 59 セカゲワラビ C X 60 ヤラボシ科 A A 61 ウラボシ科 マメヅタ B B 62 オン・ダンデング A A 63 オン・ダンデング A A 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オイアカウキクサヤ CR C A 67 ヒノキ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 オーグルミ D C 70 ヤナギ科 ヤマンノナギ D C 73 アカジデ D </td <td>49</td> <td></td> <td>イノデモドキ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>С</td> <td>A</td>	49		イノデモドキ						С	A
52 メシダ科 カラクサイヌワラビ B 53 スリワラビ B 54 タニイヌワラビ A X 55 タカオンケチシダ D A 56 クカオンケチシダ A A 58 カグワラビ D X 59 オニヒカゲワラビ C X 60 キョタキシダ A A 61 ウラボシ科 マメヅタ B B 62 ヒメノキシノブ C A 63 デンジソウ科 EN B A 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ科 EN B A 66 アカウキクサ科 ス C C A 68 オオアカウキクサ C C A C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 ヤンショウマン・アカン・アカンド D C 73 カイオ サワシバ A A 75 アカシデ D B <t< td=""><td>50</td><td></td><td>ジュウモンジシダ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td></t<>	50		ジュウモンジシダ							A
53 タリワラビ B 54 タニイヌワラビ A X 55 タカオシケチシダ D B 57 ナチシケンダ D X 58 セカゲワラビ D X 59 セカゲワラビ D X 60 キョタキシダ A A 61 ウラボシ科 マメヅタ B B 62 セメノキシノブ C A 63 オンキグジデンダ A A A 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ C C A 67 ヒノキ科 ス C C A 68 オオンマハイネズ D C 70 ヤナギ科 バッコヤナギ D C 70 ヤナギ科 ヤマハンノキ D C 73 アカジア D B 76 アンシバ D B 77	51		ヒメカナワラビ							A
54 タニイヌワラビ A X 55 日本のイヌワラビ B B 56 カオンケチシダ D D 57 大手シケシダ D X 58 セカゲワラビ C X 60 オニヒカゲワラビ C X 61 ウラボシ科 マメヅタ B B 62 インジソウ E N B A 63 オンャグジデンダ A A 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C 68 オオシマハイネズ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 アンジコヤナギ D C 73 サワシバ A A A 74 カマシデ D B B 76 アカシデ D B B 77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B B	52	メシダ科	カラクサイヌワラビ						С	X
B B B B D D D D D D	53		ヌリワラビ						В	
56 タカオシケチシダ D 57 1 A 58 1 D X 59 2 D X 60 4 D X 60 4 A A 61 ウラボシ科 マメヅタ B 62 Exylキシノブ C A 63 インジソウ科 EN B A 64 デンジソウ科 EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 Eノキ科 ネズ C C 68 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 アンシャヤナギ D C 71 カバノキ科 カンツ B B 75 アカシデ D B 76 アカシデ D B 77 ブナ科 カシワ C 78 カシワ C C	54		タニイヌワラビ						A	X
57 58 カチワラビ D X 59 カニヒカゲワラビ D X A 60 オニヒカゲワラビ D X A 61 ウラボシ科 D X Y Y A B 62 ヒメノキシノブ D C A C A 63 オンヤグジデンダ D EN B A A 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ D EN B A A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A C 67 ヒノキ科 A X D D C C 69 クルミ科 オニグルミ D C D C 70 ヤナギ科 D D C D C 71 カバノキ科 Pマハンノキ D C D C 73 アカシデ D B B 76 アカシデ D B D B 77 ブナ科 カシワ C D D B 77 ブナ科 カシワ D C D 78 カシワ D C D	55		ヒロハイヌワラビ							В
58 ヒカゲワラビ D X 60 オニヒカゲワラビ C X 61 ウラボシ科 マメヅタ B B 62 セメノキシノブ C A 63 オシャグジデンダ A A 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C C 68 オオシマハイネズ D C 70 ヤナギ科 バッコヤナギ D D 71 ヤマハンノキ D C 73 カバノキ科 ヤマハンノキ D B 75 アカシデ D B 76 アカシデ D B 77 プナ科 カシワ C C 78 カシワ C C	56		タカオシケチシダ						D	
大田田	57		ナチシケシダ							A
60 キョタキシダ A 61 ウラボシ科 マメヅタ B 62 とメノキシノブ C A 63 オシャグジデンダ A A 64 デンジソウ科 EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C C 68 オニグルミ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 D C 71 キツネヤナギ D C 73 カバノキ科 ヤマハンノキ D B 75 アカシデ D B 76 アカシデ D B 77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B B	58		ヒカゲワラビ						D	X
61 ウラボシ科 マメヅタ B 62 日本メーキシノブ C A 63 オシャグジデンダ A 64 デンジソウ科 EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ 67 ヒノキ科 C C 68 オオシマハイネズ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 D C 71 キツネヤナギ D C 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 イ4 クマシデ B B 76 アカシデ D B 77 ブナ科 カシワ C C 78 ウバメガシ B	59		オニヒカゲワラビ						С	X
62 Eメノキシノブ C A 63 オシャグジデンダ A A 64 デンジソウ科 EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C 68 オオシマハイネズ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 バッコヤナギ D D 71 キツネヤナギ D C 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 イサワシバ A A 74 クマシデ D B 75 アカシデ D B 76 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	60		キヨタキシダ							A
63 オシャグジデンダ A 64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C 68 オオシマハイネズ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 バッコヤナギ D D 71 キツネヤナギ D D C 73 サワシバ A A A 74 クマシデ D B B 75 アカシデ D B B 77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B B	61	ウラボシ科	マメヅタ							В
64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C C C 68 オオシマハイネズ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 D C 71 キツネヤナギ D C 73 サワシバ A A 74 クマシデ D B 75 アカシデ D B 76 ブナ科 カシワ C 78 カシワ C D	62		ヒメノキシノブ						С	A
64 デンジソウ科 デンジソウ EN B A 65 サンショウモ科 サンショウモ EN B A 66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C C C 68 オオシマハイネズ D C 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 D C 71 キツネヤナギ D C 73 サワシバ A A 74 クマシデ D B 75 アカシデ D B 76 ブナ科 カシワ C 78 カシワ C D	63		オシャグジデンダ						A	
66 アカウキクサ科 オオアカウキクサ CR C A 67 ヒノキ科 ネズ C C 68 オオシマハイネズ D D 69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 D C 71 キツネヤナギ D C 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 イセーシデ B B 75 アカシデ D B 76 ブナ科 カシワ C C 78 ウバメガシ B B	64	デンジソウ科						EN	В	A
67 ヒノキ科 ネズ C 68 オオシマハイネズ D 69 クルミ科 オニグルミ D 70 ヤナギ科 バッコヤナギ D 71 キツネヤナギ D C 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 サワシバ A A A 74 クマシデ D B 75 アカシデ D B 76 ブナ科 カシワ C ウバメガシ B B	65	サンショウモ科	サンショウモ					EN	В	A
68 オオシマハイネズ D 69 クルミ科 オニグルミ D 70 ヤナギ科 バッコヤナギ D 71 キツネヤナギ D C 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 サワシバ A A A 74 クマシデ D B 75 アカシデ D B 76 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	66	アカウキクサ科	オオアカウキクサ					CR	С	A
69 クルミ科 オニグルミ D C 70 ヤナギ科 バッコヤナギ D D 71 キツネヤナギ D C 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 フナイ クマシデ B B 76 フナ科 カシワ C D B 77 ブナ科 カシワ C D D B 77 ブナ科 カシワ C D D B	67	ヒノキ科	ネズ						С	
70 ヤナギ科 バッコヤナギ D 71 キツネヤナギ D 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 イセーシア A A A A A A A A A A A A A A B B D B B B D B <td>68</td> <td></td> <td>オオシマハイネズ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D</td> <td></td>	68		オオシマハイネズ						D	
71 キツネヤナギ D 72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 サワシバ A A A 74 クマシデ B B 75 アカシデ D B 76 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	69	クルミ科	オニグルミ						D	С
72 カバノキ科 ヤマハンノキ D C 73 サワシバ A A 74 クマシデ B 75 D B 76 ハシバミ D B 77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	70	ヤナギ科	バッコヤナギ						D	
73 サワシバ A A 74 クマシデ B 75 D B 76 ハシバミ D B 77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	71		キツネヤナギ						D	
74 クマシデ B 75 アカシデ D B 76 ハシバミ D B 77 ブナ科 カシワ C ウバメガシ B	72	カバノキ科	ヤマハンノキ						D	С
75 アカシデ D B 76 ハシバミ D B 77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	73		サワシバ						A	A
76 ハシバミ D B 77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	74		クマシデ							В
77 ブナ科 カシワ C 78 ウバメガシ B	75		アカシデ						D	В
78 ウバメガシ B	76		ハシバミ						D	В
78 ウバメガシ B 79 ウラジロガシ C	77	ブナ科	カシワ						С	
79 ウラジロガシ C	78		ウバメガシ						В	
	79		ウラジロガシ							С

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(3) 注目すべき植物種の状況

80	N	↑\ b	任力			;	指定状	況		
81	No.		種名 	1	2	3	4	5	6	7
82 タデ科 シンミズヒキ D C C S S S S S S S S	80		ハルニレ						A	
83 タデ科 シンミズヒキ	81	イラクサ科								В
84	82		ヤマミズ						D	
お子	83	タデ科	シンミズヒキ							С
86	84		ホソバイヌタデ					VU	С	
87 ナデシコ科 カワラナデシコ D A X 88 オオヤマフスマ A X 90 ヒカリチガイソウ EN A A X 91 ウッグロ C A 92 サワハコペ D A 93 イトハコペ EN A A 94 ヒコ科 ヤナギイノコヅチ C C 95 マツブサ料 C C B 96 クスノキ科 カゴノキ C C B 97 マグラチャン C C B A X 98 キンボウゲ科 ツクバトリカブト C C B A X 100 ロの エーリンソウ C C A A X 99 マクボトリカブト C C B C A A X 100 エーリンソウ C C A A X C C A 101 エグリングラウック C C A A X C C A イチリンソウ C C A A X C C A A X 103 エグランウンジョウツマンウンウマンウマンショウマンウマンショウマンショウマンショウマンショウマンショ	85		ナガバノウナギツカミ					VU	С	
88 89 カッグロセンノウ	86		ヌカボタデ					EN	С	
89 90 1	87	ナデシコ科	カワラナデシコ						D	A
90 ヒナワチガイソウ EN A A A A A A A A D D D D D D D D D D D	88		フシグロセンノウ						С	A
91 92 カワハコベ D C 93 ヒユ科 ヤナギイノコヅチ EN A C 94 ヒユ科 ヤナギイノコヅチ C C 95 マツブサ科 マツブサ C C 96 クスノキ科 カゴノキ A A 97 アブラチャン C B 98 キンボウゲ科 ツクバトリカブト C C 100 エリンソウ C C A X 101 イチリンソウ C C A X 102 アズマイチゲ B B A C C A X C C A X C C A X D C C A X C C A X X C C A X X C C A X X C C A X X C C A X X C C C D C C A X X L L	89		オオヤマフスマ						A	X
92 サワハコベ EN A 94 ヒユ科 ヤナギイノコヅチ C 95 マツブサ科 マンブサ C 96 クスノキ科 カゴノキ A A 97 アブラチャン C B C B 98 キンポウゲ科 ツクバトリカブト C C A X 100 イチリンソウ C C A X 101 イチリンソウ C C A X 102 アズマイチゲ B A C C 103 ヒメウズ C C C C 104 イヌショウマ C C C C 105 サラシナショウマ C C C C C 106 カザグルマ VU B A A C C 107 カザダルマショウヅル C C C D C D C D C EN B B A A T A EN B B A A T T A T T C D D C C D D	90		ヒナワチガイソウ					EN	A	A
93 イトハコベ EN A 94 ヒユ科 ヤナギイノコヅチ C 95 マツブサ科 マツブサ C 96 クスノキ科 カゴノキアプラチャン C B 97 キンボウゲ科 ツクバトリカブト C C 99 100 イチリンソウ C A X 101 102 アズマイチゲ B A X 103 セメウズ C C A X 104 105 セメウズ C C A X 105 106 カザグルマ C C C C C C C C C C C C C C C C C D D C C D D C EN B A A T T A A T T A EN B A	91		フシグロ						С	
94 ヒコ科 ヤナギイノコヅチ C 95 マツブサ科 マツブサ C 96 クスノキ科 カゴノキ A 97 アブラチャン C B 98 キンポウゲ科 ツクバトリカブト C C 99 コ00 ロ00 C A X 100 ロ00 ロ00 C C A X 101 ロ00 ロ00 C C A X 102 ロ00 ロ00 C C A C A C A C A C A C A C A C A C C A A C C A A C C A A C C C D D C C D	92		サワハコベ						D	
95 マツブサ科 マツブサ C 96 クスノキ科 カゴノキ C B 97 アブラチャン C B 98 キンポウゲ科 ツクバトリカブト C A X 100 101 イチリンソウ C A X 101 102 B A X 103 104 C A X 105 105 B A C 106 グランナショウマ C C C 107 カザグルマ VU B A 108 クサボタン D C C 109 100 フサボタン EN B A 110 コキツネノボタン EN B A B A A EN B A B A A T A T A A A T A A A A A A A A A A A A A A A A A A <td>93</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>EN</td> <td>A</td> <td></td>	93							EN	A	
96 クスノキ科 カゴノキ A A 97 アブラチャン C B 98 キンポウゲ科 ツクバトリカブト C C 99 100 ロ0 C A X 101 ロ0 イチリンソウ C C A X 102 ロ0 イチリンソウ C A X 103 ロ0 イチリンソウ C A C 104 ロ0 イメショウマ C C C 105 ロ0 イスショウマ C C C 106 クサボタン D C C D 107 カボタルマン D C D C D D C D D C D D D C B A A T A T A T A T A A T A A T A A T A A A A A T A A A A A <td>94</td> <td>ヒユ科</td> <td>ヤナギイノコヅチ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>С</td>	94	ヒユ科	ヤナギイノコヅチ							С
97 アプラチャン C B 98 キンポウゲ科 ツクバトリカプト C 99 100 A X 101 ロ02 エリンソウ C A 102 アズマイチゲ B A 103 ヒメウズ C C 104 イヌショウマ C C 105 サラシナショウマ C C 106 ハンショウヅル C C 107 カザグルマ VU B A 108 D C 109 セリバオウレン C C 110 コキツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A 113 コウホネ B A 114 コウホネ B A 115 ナガバコウホネ A 116 マツモ科 マツモ C C 117 センリョウ科 ウマノスズクサ科 D C 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ D C	95	マツブサ科	マツブサ						С	
98 キンポウゲ科 ツクバトリカブト C 99 100 A X 101 101 C A X 102 103 C A A X 103 E B A A A X 104 F B A A A X C A A X A X A X A X A X X A X X A X X A X </td <td>96</td> <td>クスノキ科</td> <td>カゴノキ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td>	96	クスノキ科	カゴノキ							A
99 フクジュソウ A X 100 イチリンソウ C A 102 イチリンソウ B A 103 ヒメウズ C C 104 イヌショウマ C C 105 サラシナショウマ C C 106 ハンショウゾル C C 107 カザグルマ VU B A 108 クサボタン D 109 セリバオウレン C C 110 コキツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A 113 オニバス EN B 114 コウホネ B A 115 ナガバコウホネ A 116 マツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 118 フタリシズカ C 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	97		アブラチャン						С	В
100 ロ01 ロ02 ロイチリンソウ C A A アズマイチゲ B A A B A A A A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A A T T S A T S	98	キンポウゲ科								С
101 102 103 104 105 104 105 106 106 106 106 107 107 108 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 109 100 10	99		フクジュソウ						A	X
TXマイチゲ	100		ニリンソウ							С
103 ヒメウズ C 104 イヌショウマ C 105 サラシナショウマ C 106 ハンショウヅル C 107 カザグルマ VU B A 108 クサボタン D 109 セリバオウレン C 110 コキツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A 113 オニバス EN B 114 コウホネ B A 115 ナガバコウホネ A 116 マツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 C 118 フタリシズカ C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	101		イチリンソウ						С	A
104 イヌショウマ C 105 106 106 ハンショウヅル C 107 カザグルマ VU B A 108 クサボタン D 109 セリバオウレン C 110 コキツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A 113 オニバス EN B 114 コウホネ B A 115 ナガバコウホネ A 116 マツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 C 118 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	102		アズマイチゲ						В	A
サラシナショウマ	103		ヒメウズ							С
106 107 108 カザグルマ VU B A 108 クサボタン D 109 セリバオウレンコキツネノボタン EN B 110 マツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A 113 オニバス EN B 114 コウホネ B A 115 ナガバコウホネ A 116 マツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 Eトリシズカ C 118 フタリシズカ C 119 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ			イヌショウマ							С
107 108 カザグルマ クサボタン D 109 セリバオウレン C 110 コキツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A EN B 113 オニバス EN B A 114 コウホネ B A 115 ナガバコウホネ A C 116 マツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	105		サラシナショウマ							C
108 109 セリバオウレン C 110 コキツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A 113 114 オニバス EN B 115 コウホネ B A 116 マツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 118 フタリシズカ C 119 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	106		ハンショウヅル							С
109 セリバオウレン C 110 コキツネノボタン EN B 111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A EN B 113 オニバス EN B A 115 ナガバコウホネ A B A 116 マツモ科 マツモ C C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C C 118 フタリシズカ C C 119 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C C	107		カザグルマ					VU	В	A
110	108		クサボタン						D	
111 メギ科 イカリソウ C B 112 スイレン科 ジュンサイ A 113 オニバス EN B 114 コウホネ B A 115 アツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 118 フタリシズカ C C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	109		セリバオウレン						С	
113			コキツネノボタン					EN	В	
113	111	メギ科							С	В
114 コウホネ B A 115 ナガバコウホネ A 116 マツモ科 C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 118 フタリシズカ C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	112	スイレン科							A	
115 ナガバコウホネ A 116 マツモ科 C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 118 フタリシズカ C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C	113							EN	В	
116 マツモ科 マツモ C 117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 118 フタリシズカ C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C									В	A
117 センリョウ科 ヒトリシズカ C 118 フタリシズカ C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C			ナガバコウホネ						A	
118 フタリシズカ C 119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C				1					С	
119 センリョウ D 120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C		センリョウ科								С
120 ウマノスズクサ科 ウマノスズクサ C										С
	119			1					D	
【 191 】		ウマノスズクサ科								С
121	121		カントウカンアオイ							A

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(4) 注目すべき植物種の状況

N	IN A	任力			;	指定状	況		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
122	マタタビ科	サルナシ							A
123	オトギリソウ科	トモエソウ						С	A
124		ヒメオトギリ						В	
125		コケオトギリ							В
126		アゼオトギリ					CR	A	
127		ミズオトギリ						С	X
128	モウセンゴケ科	モウセンゴケ						С	
129	ケシ科	ヤマエンゴサク						В	A
130		ヤマブキソウ						A	
131	アブラナ科	ハタザオ						A	
132		ジャニンジン							В
133		コイヌガラシ					VU	D	
134	ユキノシタ科	ネコノメソウ						D	
135		ヤマネコノメソウ							A
136		タマアジサイ							С
137		ノリウツギ						A	
138		タコノアシ					VU		С
139		ヤブサンザシ						В	
140	バラ科	オオダイコンソウ						A	
141		ダイコンソウ							С
142		タチゲヒメヘビイチゴ						С	
143		イヌザクラ							С
144		エドヒガン						A	
145		ヒメバライチゴ						D	
146		ナガボノシロワレモコウ						D	
147	マメ科	ホドイモ						D	В
148		フジキ						С	A
149		タヌキマメ						С	
150		サイカチ						D	
151		フジカンゾウ							С
152		レンリソウ						С	В
153		イヌハギ					EN	С	A
154		イヌエンジュ						D	
155		オオバクサフジ						С	В
156	フウロソウ科	タチフウロ						D	В
157	アマ科	マツバニンジン						A	
158	トウダイグサ科	ノウルシ					VU	С	
159		ヒトツバハギ							В
160	ミカン科	フユザンショウ						С	
161	ヒメハギ科	ヒメハギ							В
162	ウルシ科	ヤマウルシ				İ			В
163	ツリフネソウ科	キツリフネ						D	A
164		ツリフネソウ		İ					В

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(5) 注目すべき植物種の状況

N	TN A	任力			打	旨定状犯	兄		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
165	クロウメモドキ科	クロウメモドキ						С	
166	ブドウ科	サンカクヅル							В
167	シナノキ科	カラスノゴマ							A
168	ジンチョウゲ科	コガンピ						С	
169	スミレ科	ケマルバスミレ							С
170		スミレ							С
171		ニオイタチツボスミレ							В
172		フモトスミレ						D	
173		ヒナスミレ						В	
174		ヒカゲスミレ						A	
175	ミソハギ科	ヒメミソハギ							В
176		ミソハギ							В
177	ヒシ科	ヒメビシ					EN	A	
178	アカバナ科	ウシタキソウ						С	A
179	アリノトウグサ科	アリノトウグサ							В
180		フサモ						С	A
181	ウリノキ科	ウリノキ						С	X
182	ミズキ科	ヤマボウシ							A
183	ウコギ科	トチバニンジン						D	A
184	セリ科	ノダケ							С
185		シシウド							A
186		ミシマサイコ					EN	С	
187		ハナウド							В
188		イブキボウフウ						С	A
189		ムカゴニンジン						С	A
190		サワゼリ (別名ヌマゼリ)					VU	С	A
191		カノツメソウ							С
192	リョウブ科 イチヤクソウ科	リョウブ						D	
193	イチヤクソウ科	ウメガサソウ						С	A
194		イチヤクソウ							В
195		マルバノイチヤクソウ						A	
196	ツツジ科	ヤマツツジ							В
197	ヤブコウジ科	カラタチバナ							A
198		オオツルコウジ					CR	С	
199	サクラソウ科	ノジトラノオ					EN	С	A
200		オカトラノオ							С
201		ヌマトラノオ							В
202		クサレダマ						С	A
203	マチン科	アイナエ						С	A

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(6) 注目すべき植物種の状況

N.T.	T) A	任 b	指定状況							
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7	
204	リンドウ科	リンドウ							A	
205		コケリンドウ							A	
206		ハルリンドウ						В	A	
207		フデリンドウ							A	
208		イヌセンブリ					VU	В		
209		センブリ						D	A	
210		ムラサキセンブリ					NT	A		
211		ツルリンドウ						С		
212	ミツガシワ科	ミツガシワ						В		
213		アサザ					NT	A		
214	ガガイモ科	フナバラソウ					VU	В	A	
215		クサナギオゴケ					VU	D	A	
216		スズサイコ					NT	С	A	
217		コバノカモメヅル							В	
218	アカネ科	アリドオシ							В	
219		ヤブムグラ					VU	С	A	
220		ハナムグラ					VU	С		
221		ホソバノヨツバムグラ							В	
222		ハシカグサ							С	
223	ムラサキ科	ホタルカズラ							С	
224		ルリソウ						В	A	
225	クマツヅラ科	クマツヅラ							A	
226	アワゴケ科	アワゴケ							С	
227		ミズハコベ						С	С	
228	シソ科	キランソウ							С	
229		ジュウニヒトエ						D	В	
230		ケブカツルカコソウ						С	A	
231		ツクバキンモンソウ							В	
232		ミズネコノオ					NT	С	A	
233		オドリコソウ							В	
234		キセワタ					VU	С	A	
235		ヒメサルダヒコ							С	
236		コシロネ							С	
237		ヒメハッカ					VU	A	X	
238		ウツボグサ						_	C	
239		ミゾコウジュ					VU	D	X	
240		ヒメナミキ						D	A	
241		ヤマタツナミソウ						С	В	
242		ニガクサ							В	
243	, ,	ツルニガクサ							В	
244	ナス科	ヤマホロシ						C		
245		オオマルバノホロシ			:		⊥ 上 ま 大 十	С	<u> </u>	

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(7) 注目すべき植物種の状況

N	TN 12	任力			ŧ	旨定状活	兄		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
246	ゴマノハグサ科	マルバノサワトウガラシ					VU	В	
247		アブノメ						D	В
248		オオアブノメ					VU	A	
249		シソクサ						D	
250		ミゾホオズキ						С	
251		シオガマギク						A	A
252		コシオガマ							В
253		ヒメトラノオ						A	
254		ゴマノハグサ					VU	С	A
255		オオヒナノウスツボ						В	A
256		ヒキヨモギ						D	
257		イヌノフグリ					VU	С	A
258	ゴマ科	ヒシモドキ					EN	EW	
259	イワタバコ科	ケイワタバコ						D	
260	ハマウツボ科	オオナンバンギセル						С	
261	タヌキモ科	ノタヌキモ					VU	A	
262		イヌタヌキモ					VU	В	
263		タヌキモ					VU	В	
264	スイカズラ科	ゴマギ							В
265	オミナエシ科	オミナエシ						D	A
266		ツルカノコソウ							С
267	マツムシソウ科	アシタカマツムシソウ						В	
268	キキョウ科	ソバナ						A	
269		ツリガネニンジン							В
270		ツルニンジン							В
271		バアソブ					VU	В	A
272		サワギキョウ						В	
273		タニギキョウ							В
274		キキョウ					VU	A	A
275	キク科	ノブキ						С	С
276		ヤマハハコ						С	
277		サワシロギク						A	
278		ウラギク					VU	С	В
279		オケラ							С
280		コヤブタバコ							A
281		ヒメガンクビソウ							A
282		キクタニギク					NT	С	
283		タカアザミ						D	
284		シロバナタカアザミ						С	
285		フジバカマ					VU	В	A
286		サワヒヨドリ							В
287		アキノハハコグサ					EN	В	
288		オグルマ		1]		С	A

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ /X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(8) 注目すべき植物種の状況

No. 料名 種名 ① ② ③ ① ③ ① ③ ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②	N	TN D	年 4			ŧ	旨定状活	兄		
カセンソウ	No.	料名	性名 	1	2	3	4	5	6	7
291	289	キク科	サクラオグルマ						RH	
292 293 294 295 296 297 295 296 297 296 297 297 298 299 297 298 299 299 297 298 299 29	290		カセンソウ						С	
293	291							VU	С	
294 295 296 センボンヤリ	292		ノニガナ						С	
295 ナガバノコウヤボウキ A 297 キクアザミ C 298 オカオグルマ C 299 サワオグルマ D B 300 301 A A 302 エゾタンボポ C C 303 カントウタンボポ C C 304 カントウタンボポ B A 305 306 トウゴクへラオモダカ WU C 306 トウゴクへラオモダカ WU C X 307 アギナシ WU C X 308 トチカガミ科 Xブタ WU C X 309 310 クロモ C X X 311 311 NFカガミ WU C X 313 312 ミズオオバコ WU C X 313 314 レルムシロ科 A C C A A D D B A D D A D D <td>293</td> <td></td> <td>コオニタビラコ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>С</td>	293		コオニタビラコ							С
296 297 298 オカオグルマ C オカオグルマ D B タムラソウ A A A D B オカオグルマ D B A オモダカ科 A A A A A A A A A	294		センボンヤリ							В
キクアザミ	295		ナガバノコウヤボウキ							A
298 299 カカオグルマ	296									С
299 サワオグルマ D B 300 タムラソウ A 301 ハバヤマボクチ C 302 エゾタンポポ C 303 カントウタンポポ C 304 オモダカ科 B A 305 サジオモダカ B A 306 トウゴクへラオモダカ VU C X 307 アギナシ VU C X 308 トチカガミ科 スブタ VU A ヤナギスブタ C A C X 310 トチカガミ VU C A X 311 トチカガミ VU C A X 312 ミズオオバコ VU C A X 313 マウガモ B B 314 コウガイモ B B 315 ホロムイソウ科 シバナ NT A X 316 ヒルムシロ科 イトモ VU B A 317 エビモ D A 318 セルムシロ科 A A A 320 ササバモ D B 321 マンニンモ D B X 322 <td>297</td> <td></td> <td>キクアザミ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>С</td> <td></td>	297		キクアザミ						С	
300 301 302 303 304 305 304 305 306 306 306 307 308 100 309 310 311 312 313 314 315 ホロムイソウ科 315 ホロムイソウ科 316 七ルムシロ科 317 318 319 320 321 322 323 322 324 325 4 / / ラモ科 326 327 326 327 326 327 326 327 326 327 326 327 326 327 326 327 327 327 327 328 326 327 327 327 327 328 326 327 327 327 328 327 326 327 327 328 326 327 327 328 327 328 327 328 327 327 328 327 328 328 327 328 328 329 326 327 327 328 328 328 329 326 327 327 328 328 328 328 329 327 328 327 328 328 328 328 328 327 328	298		オカオグルマ						С	
301 302 303 カントウタンポポ C エゾタンポポ C C カントウタンポポ C C カントウタンポポ C C ストウタンポポ C C ストウダンポポ C C ストウダンポポ C C ストウゴクへラオモダカ T T T T T T T T T	299		サワオグルマ						D	В
302 コントウタンポポ	300		タムラソウ							A
303	301		-						С	
304 オモダカ科	302		エゾタンポポ							С
サジオモダカ	303		カントウタンポポ							С
No	304	オモダカ科	ヘラオモダカ							В
307	305								В	A
308	306		トウゴクヘラオモダカ					VU	С	
マナギスブタ	307		アギナシ					VU	С	X
310 311 312 313 314 2 2 2 2 2 2 2 314 315 316 2 2 2 2 2 2 2 2 2	308	トチカガミ科	スブタ					VU	A	
NFカガミ VU C A	309		ヤナギスブタ						С	A
S	310		クロモ						С	X
313 13 14 2 2 2 2 2 2 2 2 2	311		トチカガミ					VU	С	A
314	312		ミズオオバコ					VU	С	A
315 ホロムイソウ科 シバナ NT A 316 ヒルムシロ科 イトモ VU B 317 318 319 320 321 センニンモ A 320 ササバモ D 321 ヤナギモ D B 322 フッグイトモ VU B 323 324 ヒロハノエビモ A 325 イバラモ科 ムサシモ EN B 326 327 A	313		セキショウモ						С	
316 ヒルムシロ科	314		コウガイモ						В	
TETE	315	ホロムイソウ科	シバナ					NT	A	
Bar	316	ヒルムシロ科	イトモ					VU	В	
センニンモ	317		エビモ							С
ササバモ	318		ヒルムシロ							A
マナギモ	319		センニンモ						A	
322 ツツイトモ VU B	320		ササバモ						D	
323 リュウノヒゲモ VU C 1324 ヒロハノエビモ A 1325 イバラモ科 ムサシモ EN B T T T T T T T T T	321		ヤナギモ						D	В
324 ヒロハノエビモ	322		ツツイトモ					VU	В	
324 ヒロハノエビモ	323		リュウノヒゲモ	1				VU	С	
325 イバラモ科 ムサシモ EN B 326 ホッスモ B X 327 イバラモ A				1						
326 ホッスモ B X 327 イバラモ A		イバラモ科	I .	1				EN		
327 イバラモ A			-							X
 328	328		トリゲモ					VU	С	

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(9) 注目すべき植物種の状況

N	I) b	廷力			指	定状犯	兄		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
329	ユリ科	ヤマラッキョウ						D	X
330		キジカクシ						С	
331		チゴユリ							С
332		カタクリ			市天			В	A
333		オオバギボウシ						С	
334		ヤマユリ							В
335		ウバユリ						D	A
336		ナルコユリ							С
337		ワニグチソウ						С	A
338		ミヤマナルコユリ							С
339		アマドコロ							С
340		ホトトギス							В
341		ヤマホトトギス							В
342		アマナ						С	С
343	ヒガンバナ科	キツネノカミソリ							С
344	ヤマノイモ科	カエデドコロ						A	В
345		キクバドコロ							В
346	ミズアオイ科	ミズアオイ					VU	С	
347	アヤメ科	ヒオウギ						В	
348		ノハナショウブ						В	
349		アヤメ						В	X
350	イグサ科	ヤマスズメノヒエ						С	В
351	ホシクサ科	ホシクサ						D	A
352		イトイヌノヒゲ						D	X
353		ニッポンイヌノヒゲ						D	В
354		ヒロハイヌノヒゲ							A
355		クロヒロハイヌノヒゲ						D	
356	イネ科	ハネガヤ						С	
357		ヒメコヌカグサ					VU	С	
358		セトガヤ						A	
359		チョウセンガリヤス						D	
360		オガルカヤ							В
361		ヒメウキガヤ						D	
362		ハイチゴザサ						С	
363		ササクサ						С	
364		ミノボロ						С	
365		チャボチヂミザサ						D	
366		セイタカヨシ						С	
367		ハマヒエガエリ						В	
368		ウキシバ						С	
369		アズマザサ						С	В

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(10) 注目すべき植物種の状況

No. 科名 種名 1日之代の 370 イネ科 コシノコチク イヌアワ コシノコチク イヌアワ 371 オオアブラススキ メガルカヤ メガルカヤ 374 ミクリ科 ミクリ 375 カヤツリグサ科 ハタガヤ イトハナビテンツキ 376 イトハナビテンツキ 377 バリガネスゲ 378 ジョウロウスゲ 379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ 381 オニスゲ	\(\sum_{VU}\)	© D D D D C	A X C A
371		D D D	X C
372 オオアブラススキ メガルカヤ 374 ミクリ科 ミクリ 375 カヤツリグサ科 ハタガヤ イトハナビテンツキ 377 378 ジョウロウスゲ ジョウロウスゲ ミヤマシラスゲ ナルコスゲ ナルコスゲ カオアブラススキ オオアブラススキ オオアブラススキ オオアブラススキ オオアブラススチ カヤツリグサ科 オオアブラススチ カヤツリグサ科 オオアブラススチ カヤツリグサイト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		D D D	С
373 メガルカヤ 374 ミクリ科 375 カヤツリグサ科 376 イトハナビテンツキ 377 ハリガネスゲ 378 ジョウロウスゲ 379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ		D D	С
374 ミクリ科 375 カヤツリグサ科 376 イトハナビテンツキ 377 ハリガネスゲ 378 ジョウロウスゲ 379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ		D	
375 カヤツリグサ科 ハタガヤ 376 イトハナビテンツキ 377 ハリガネスゲ 378 ジョウロウスゲ 379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ		D	A
376 イトハナビテンツキ 377 ハリガネスゲ 378 ジョウロウスゲ 379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ	VU		
377 ハリガネスゲ 378 ジョウロウスゲ 379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ	VU	С	
378 ジョウロウスゲ 379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ	VU		
379 ミヤマシラスゲ 380 ナルコスゲ	VU	С	
380 ナルコスゲ	· ·	D	A
		D	В
381 オニスゲ		С	
			В
382 ビロードスゲ		A	
383 ウマスゲ		В	
384 オオアオスゲ		D	
385 ゴウソ			В
386 ヌカスゲ		D	
887 ヒメシラスゲ		D	
ミヤマカンスゲ			В
タカネマスクサ		D	
390 マメスゲ		D	
391 シラコスゲ		D	
392 ヤブスゲ		С	A
393 オオクグ	VU	D	
394 シオクグ		D	С
295 センダイスゲ		D	
396 タガネソウ		D	
397 オニナルコスゲ		D	
398 チュウゼンジスゲ		D	
899 ヒメアオガヤツリ		D	
セイタカハリイ		D	
401 コツブヌマハリイ	VU	С	
402 シカクイ			В
403 コアゼテンツキ		С	В
404 ノテンツキ		D	
405 オオアゼテンツキ		D	
406 ホタルイ			С
タタラカンガレイ		D	
408 サンカクホタルイ		RH	
409 コマツカサススキ		В	
410 コシンジュガヤ		В	

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.27(11) 注目すべき植物種の状況

N	T) b	任力			ŧ	旨定状沙	元		
No.	科名	種名	1	2	3	4	(5)	6	7
411	ラン科	エビネ					VU	D	A
412	1	ギンラン						D	A
413	1	キンラン					VU	D	A
414		ササバギンラン						D	A
415		クゲヌマラン					VU	C	
416		サイハイラン						D	A
417		シュンラン							В
418		マヤラン					VU	С	В
419		サガミラン						С	A
420		クマガイソウ					VU	В	A
421		タシロラン					VU	С	X
422		ツチアケビ						С	A
423		ナヨテンマ					EN	A	
424		アキザキヤツシロラン						В	A
425		クロヤツシロラン						С	A
426		ミヤマウズラ						D	A
427		シュスラン						С	
428		クモキリソウ						С	A
429		コクラン							В
430		ヨウラクラン						D	С
431		オオバノトンボソウ							В
432		ツレサギソウ						В	
433		ヤマサギソウ						В	
434		トンボソウ						В	
435		アワチドリ					CR	A	
436		カヤラン						В	A
437		クモラン						A	A
438		ヒトツボクロ						A	
439		オハクウンラン					VU	A	
合計	106 科	439 種	0種	0種	1種	0種	76種	311 種	262 種

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.25、表6-1.26及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、 緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

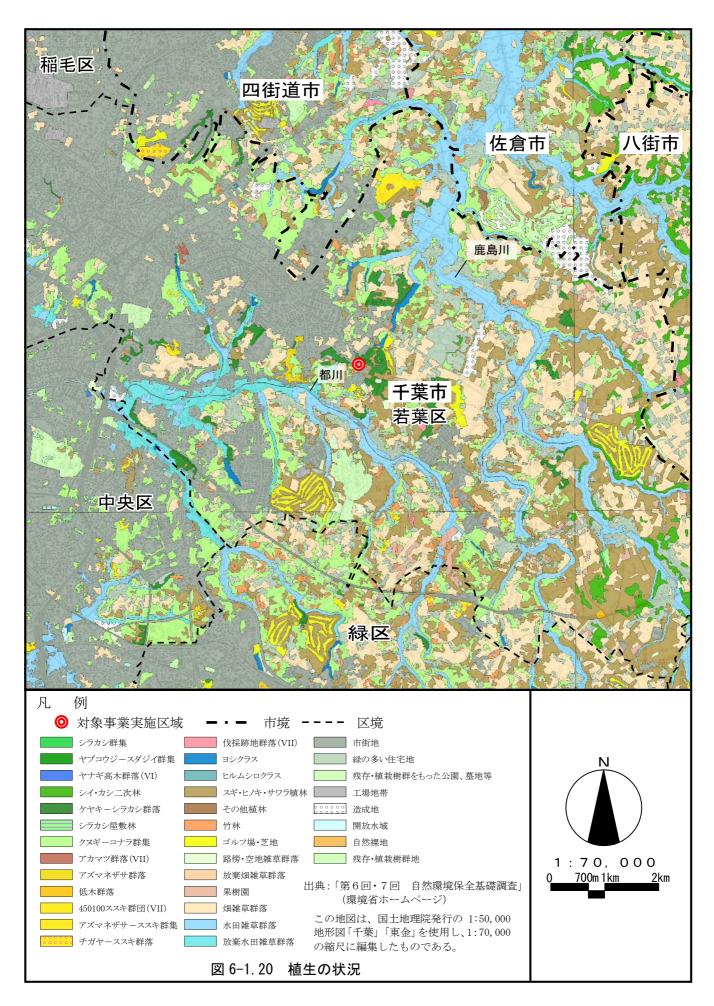
3. 植生の状況

対象事業実施区域及びその周辺の植生の状況について、「第6回・7回 自然環境保全基 礎調査」(環境省ホームページ) をもとに整理した。

対象事業実施区域及びその周辺の植生の状況は、図6-1.20に示すとおりである。

対象事業実施区域は市街地に属しており、周辺は主にケヤキ・シラカシ群落、クヌギ・コナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林となっている。

また、北東側には鹿島川、南側には都川といった水域が認められる。



4. 植物群落の状況

対象事業実施区域及びその周辺の植物群落の状況について、「千葉市の保護上重要な野生生物-千葉市レッドリストー」(平成16(2004)年5月 千葉市環境局環境保全部 環境保全推進課)をもとに整理した。

対象事業実施区域及びその周辺における植物群落の状況は、表6-1.28(1)~(2)に示すとおりである。対象事業実施区域が位置する若葉区には、スダジイ・タブノキ群落やイヌシデ・コナラ群落等がある。

なお、対象事業実施区域及びその周辺に特定植物群落はない。

表6-1.28(1) 植物群落の状況

番号	名称	所在地	選定基準注1)	備考
1	スギ植林	若葉区 (町名非公開) ^{注2)}	F、J	保存樹林 (一部)
2	タブノキ・ケヤキ群落	中央区亥鼻、矢作町 (千葉大学医学部の森)	A, E	
3	スダジイ・タブノキ群落	若葉区東寺山町、原町	A, E	保存樹林 (一部)
4	スダジイ群落	若葉区加曽利町 (国道 126 号沿いの斜面林)	A, E	保存樹林 (一部)
5	スダジイ群落	若葉区大宮町 (日枝神社、泉福寺周辺)	A, E	保存樹林(一部)、 社寺林
6	スダジイ群落、 イヌシデ・ケヤキ群落	若葉区大宮町 (城の越の森)	A, E	保存樹林(一部)
7	スダジイ群落	中央区赤井町 (赤井町のスダジイ林)	A, E	保存樹林(一部)
8	スダジイ群落、 イヌシデ・コナラ群落	中央区星久喜町 (三上神社の森)	A, E	保存樹林(一部)、 社寺林
9	シラカシ群落、 イヌシデ・コナラ群落	若葉区若松町	E	保存樹林(一部)
10	ハンノキ・オニグルミ群落	中央区矢作町(丹後堰公園)	B, D	都市公園
11	イヌシデ・ケヤキ群落	中央区仁戸名町(月の木貝塚)	Е	国指定文化財、 都市計画緑地
12	イヌシデ・コナラ群落	若葉区桜木町 ^{注3)} 、小倉町 (加曽利貝塚周辺(坂月川沿いの斜面林))	E	保存樹林(一部)
13	イヌシデ・コナラ群落	若葉区富田町 (いずみの森)	E	里山地区(一部)

- 注1) 植物群落選定基準は以下に示すとおりである。
 - A:極相林もしくはそれに近い自然林
 - B:市内では、きわめてまれな植物群落または個体群
 - C:分布域の南限、北限、隔離分布等、分布限界になる植物群落または個体群
 - D:砂丘、断崖地、塩沼地、河川、湿地等、特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
 - E:郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
 - F:過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等手が入っていないもの
 - G: 乱獲その他人為の影響によって、市内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
 - H:学術上重要な植物群落または個体群
 - I:特定種の生育環境として重要な植物群落
 - J:代償植生であっても、長期にわたる伝統的な管理により、特有の種構成が維持されている群落
- 注2) 町名を公表することにより、そこに生育・生息する種へ影響が及ぶ可能性があるため、町名を非公開としている。
- 注3) 所在地名は調査当時のものであり、加曽利貝塚周辺は現在若葉区桜木となっている。
- 出典:「千葉市の保護上重要な野生生物ー千葉市レッドリストー」(平成16(2004)年5月 千葉市環境局環境保全部 環境保全推進課)

表 6-1.28(2) 植物群落の状況

番号	名称	所在地	選定基準注1)	備考
14	イヌシデ・コナラ群落	若葉区野呂町(泉自然公園)	E, I, J	近郊緑地特別保全地区、 都市公園
15	コナラ・イヌシデ群落	緑区平川町(ひらかの森)	E	里山地区(一部)
16	コナラ群落	若葉区富田町(いずみの森)	E	里山地区(一部)
17	ヤナギモ群落	若葉区富田町	D, G	_
18	ヤナギモ群落	緑区平山町	D, G	_
19	チガヤ群落	若葉区 (町名非公開) ^{注2)}	Ι, J	_
20	ススキ群落	若葉区桜木町 ^{注3)} (加曽利貝塚周辺(南貝塚))	Ι, J	国指定文化財、 都市公園
21	ススキ群落	若葉区中野町	Е、Ј	_
22	アズマネザサ群落	若葉区谷当町	Е、Ј	_
23	アズマネザサ群落	若葉区谷当町	Е、Ј	_
24	アズマネザサ群落	若葉区 (町名非公開) ^{注2)}	I	_
25	アズマネザサ・ワラビ群落	若葉区中野町	E	_

- 注1) 植物群落選定基準は以下に示すとおりである。
 - A:極相林もしくはそれに近い自然林
 - B:市内では、きわめてまれな植物群落または個体群
 - C:分布域の南限、北限、隔離分布等、分布限界になる植物群落または個体群
 - D:砂丘、断崖地、塩沼地、河川、湿地等、特殊な立地に特有な植物群落または個体群で、その群落の特徴が典型的なもの
 - E:郷土景観を代表する植物群落で、特にその群落の特徴が典型的なもの
 - F:過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等手が入っていないもの
 - G: 乱獲その他人為の影響によって、市内で極端に少なくなるおそれのある植物群落または個体群
 - H:学術上重要な植物群落または個体群
 - I:特定種の生育環境として重要な植物群落
 - J:代償植生であっても、長期にわたる伝統的な管理により、特有の種構成が維持されている群落
- 注2) 町名を公表することにより、そこに生育・生息する種へ影響が及ぶ可能性があるため、町名を非公開としている。
- 注3) 所在地名は調査当時のものであり、加曽利貝塚周辺は現在若葉区桜木となっている。
- 出典:「千葉市の保護上重要な野生生物-千葉市レッドリストー」(平成16(2004)年5月 千葉市環境局環境保全部 環境保全推進課)

5. 巨樹・巨木の状況

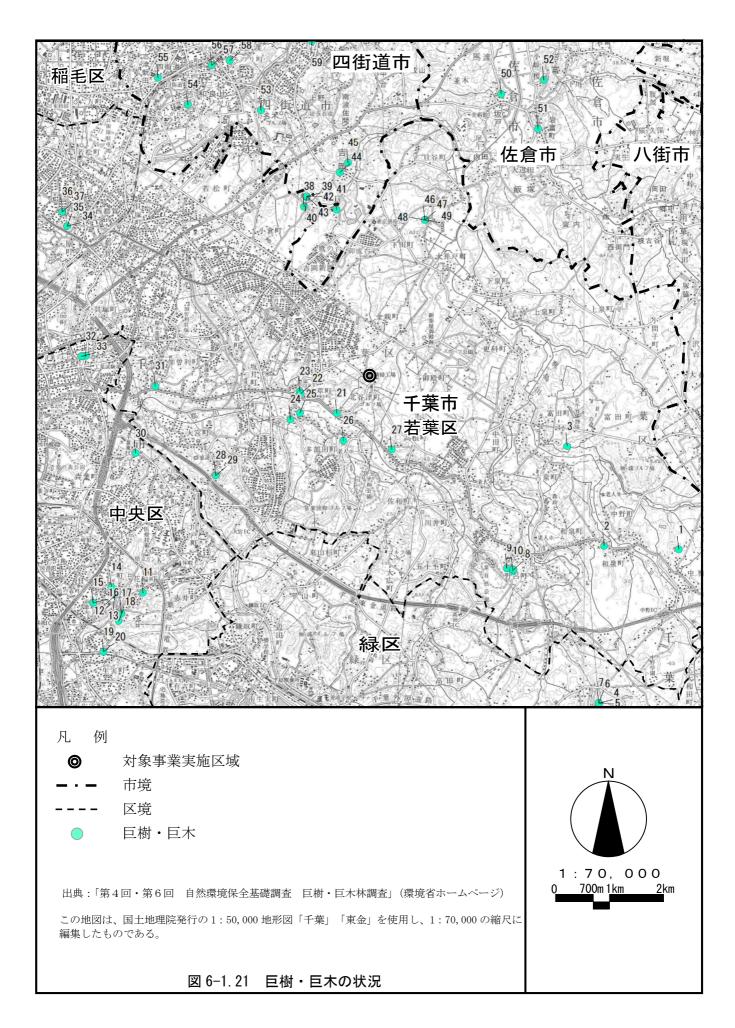
対象事業実施区域及びその周辺の巨樹・巨木の状況について、「第4回・6回 自然環境 保全基礎調査 巨樹・巨木林調査」(環境省ホームページ)をもとに整理した。

対象事業実施区域及びその周辺で確認された巨樹・巨木は、表6-1.29及び図6-1.21に示すとおりである。

対象事業実施区域周辺には、イチョウ、スギ、スダジイ等の巨樹・巨木がみられる。

表6-1.29 巨樹・巨木の状況

_				_	
地点 番号	樹種名	所在地	地点 番号	樹種名	所在地
1	イチョウ	千葉県千葉市	31	ケヤキ	千葉県千葉市
2	ケヤキ	千葉県千葉市	32	イチョウ	千葉県千葉市
3	スダジイ	千葉県千葉市	33	ケヤキ	千葉県千葉市
4	スギ	千葉県千葉市	34	スダジイ	千葉県千葉市
5	スダジイ	千葉県千葉市	35	スダジイ	千葉県千葉市
6	スダジイ	千葉県千葉市	36	タブノキ	千葉県千葉市
7	スギ	千葉県千葉市	37	タブノキ	千葉県千葉市
8	ケヤキ	千葉県千葉市	38	スダジイ	千葉県千葉市
9	スギ	千葉県千葉市	39	スギ	千葉県千葉市
10	ケヤキ	千葉県千葉市	40	スギ	千葉県千葉市
11	スダジイ	千葉県千葉市	41	ケヤキ	千葉県四街道市
12	ケヤキ	千葉県千葉市	42	スギ	千葉県千葉市
13	クスノキ	千葉県千葉市	43	カヤ	千葉県千葉市
14	クスノキ	千葉県千葉市	44	ケヤキ	千葉県四街道市
15	クスノキ	千葉県千葉市	45	シダレザクラ	千葉県四街道市
16	クスノキ	千葉県千葉市	46	スギ	千葉県千葉市
17	スダジイ	千葉県千葉市	47	スギ	千葉県千葉市
18	スギ	千葉県千葉市	48	スギ	千葉県千葉市
19	スダジイ	千葉県千葉市	49	スギ	千葉県千葉市
20	スダジイ	千葉県千葉市	50	イチョウ	千葉県佐倉市
21	スダジイ	千葉県千葉市	51	スギ	千葉県佐倉市
22	エノキ	千葉県千葉市	52	スダジイ	千葉県佐倉市
23	ケヤキ	千葉県千葉市	53	イチョウ	千葉県四街道市
24	ケヤキ	千葉県千葉市	54	イチョウ	千葉県四街道市
25	スダジイ	千葉県千葉市	55	エノキ	千葉県四街道市
26	イチョウ	千葉県千葉市	56	スギ	千葉県四街道市
27	スギ	千葉県千葉市	57	スダジイ	千葉県四街道市
28	スダジイ	千葉県千葉市	58	ケヤキ	千葉県四街道市
29	スギ	千葉県千葉市	59	カヤ	千葉県四街道市
30	イチョウ	千葉県千葉市			



6-1-13 動物の生息の状況

1. 動物相の状況

動物相の状況については、既存資料調査を行い整理した。

(1) 文献調査

対象事業実施区域及びその周辺の動物相の状況について、既存資料を整理した。 確認した文献等は、表6-1.30に示すとおりである。

表6-1.30 動物相の確認文献等

		整理の対象とした種
А	「千葉県の保護上重要な野生生物-千葉県レッドデータブックー動物編 2011 年改訂版」 (2011 年 3 月 千葉県環境生活部自然保護課)	調査対象とした野生動物(哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、淡水産魚類、昆虫類、陸産及び陸水産甲殻類、 十脚甲殻類、貝類)のうち千葉市若葉区、中央区、稲毛区、緑区、佐倉市、四街道市、八街市で確認された種(海域及び沿岸部のみで確認された種及び「千葉県の保護上重要な野生生物一千葉県レッドデータブックー動物編 2011 年改訂版」または「千葉市の保護上重要な野生生物一千葉市レッドリストー」で消息不明・絶滅生物に指定されており、かつその他の文献で生息が確認されていない種については除いている)
В	「千葉市の保護上重要な野生生物-千葉市レッドリスト-」 (平成 16 (2004) 年5月 千葉市環境局環境保全部環境保全推進課)	調査対象とした野生動物(哺乳類、鳥類、爬虫類、 両生類、淡水産魚類、無脊椎動物(昆虫類、エビ目、 ワラジムシ目、貝類、淡水産コケムシ類)のうち千 葉市で確認された種(海域及び沿岸部のみで確認された種及び「千葉県の保護上重要な野生生物一千葉 県レッドデータブックー動物編 2011 年改訂版」または「千葉市の保護上重要な野生生物一千葉市レッドリストー」で消息不明・絶滅生物に指定されており、かつその他の文献で生息が確認されていない種については除いている)
С	「いきものログ」 (環境省 生物多様性センターホームページ)	調査対象とした野生動物(哺乳類、鳥類、爬虫類・両 生類、淡水産魚類、昆虫類、陸産及び陸水産甲殻類、 十脚甲殻類、貝類)のうち千葉市若葉区、中央区、稲 毛区、緑区、佐倉市、四街道市、八街市で確認された 種(海域及び沿岸部のみで確認された種及び「千葉県 の保護上重要な野生生物一千葉県レッドデータブック ー動物編 2011 年改訂版」または「千葉市の保護上重 要な野生生物一千葉市レッドリストー」で消息不明・ 絶滅生物に指定されており、かつその他の文献で生息 が確認されていない種については除いている)

2. 注目すべき種の状況

文献調査で確認された種について、国、千葉県、千葉市及び各自治体が指定する選定根拠 に基づき注目すべき種の指定状況を整理した。

(1)選定根拠・基準

注目すべき動物種の選定根拠は表6-1.31に、選定基準は表6-1.32に示すとおりである。

表6-1.31 注目すべき動物種の選定根拠

		選定根拠	選定基準
			特別天然記念物(特天)
	1	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号)	・国指定天然記念物(国天)
	2	「千葉県文化財保護条例」(昭和30年3月29日 条例第8号)	・県指定天然記念物(県天)
法令 による指 定	3	「千葉市文化財保護条例」(昭和33年10月7日 条例第18号) 「佐倉市文化財保護条例」(昭和51年3月29日 条例第8号) 「四街道市文化財の保護に関する条例」(平成46年6月17日 条例第12号) 「八街市文化財保護に関する条例」(昭和49年9月14日 条例第25号)	市指定天然記念物(市天)
	4	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」 (平成4年6月5日 法律第75号)	・国内希少野生動植物種(国内)・国際希少野生動植物種(国際)・特定国内希少野生動植物種(特定)・緊急指定種(緊急)
ado to	(5)	「絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト」 (平成 29 年 3 月 31 日改訂 環境省)	 ・絶滅 (EX) ・野生絶滅 (EW) ・絶滅危惧 I 類 (CR+EN) ・絶滅危惧 I A 類 (CR) ・絶滅危惧 I B 類 (EN) ・絶滅危惧 II 類 (VU) ・準絶滅危惧 (NT) ・情報不足 (DD) ・地域個体群 (LP)
文献 による 指定	6	「千葉県の保護上重要な野生生物 ー千葉県レッドデータブックー動物編 2011 年改訂版」 (2011 年 3 月 千葉県環境生活部自然保護課)	 ・消息不明・絶滅生物(X) ・野生絶滅生物(EW) ・最重要保護生物(A) ・重要保護生物(B) ・要保護生物(C) ・一般保護生物(D) ・保護参考雑種(RH)
	7	「千葉市の保護上重要な野生生物-千葉市レッドリストー」 (平成 16(2004)年 5 月 千葉市環境局環境保全部 環境保全推進課)	・消息不明・絶滅生物(X)・最重要保護生物(A)・重要保護生物(B)・要保護生物(C)

表6-1.32 注目すべき動物種の選定基準

	選定基準	評価基準
	特別天然記念物	国指定天然記念物のうち特に重要な記念物について指定する。
1	国指定天然記念物	国指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)で我が国にとって学術上価値の高いもの。
2	県指定天然記念物	県指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)で県にとって学術上価値の 高いもの。
3	市指定天然記念物	市指定文化財のうち、動物(生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)で市にとって学術上価値の 高いもの。
	国内希少野生動植物種	その個体が本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種であって、政令で 定めるもの。
	国際希少野生動植物種	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種(国内希少野生動植物種を除く。)であって、政令で定めるもの。
4	特定国内希少野生動植物種	次に掲げる要件のいずれにも該当する国内希少野生動植物種であって、政令で定めるものをいう。 一 商業的に個体の繁殖をさせることができるものであること。 二 国際的に協力して種の保存を図ることとされているものでないこと。
	緊急指定種	環境大臣が、国内希少野生動植物種及び国際希少野生動植物種以外の野生動植物の種の保存を特に緊急に図る必要があると認めるときに指定する種。
	絶滅 (EX)	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種。
	野生絶滅(EW)	飼育・栽培下でのみ存続している種。
	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種。
	絶滅 絶滅危惧 I A 類(CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
(5)	危惧 絶滅危惧 I B 類(EN)	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	絶滅の危険が増大している種。
	準絶滅危惧 (NT)	存続基盤が脆弱な種。
	情報不足 (DD)	評価するだけの情報が不足している種。
	地域個体群 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。
	消息不明・絶滅生物 (X)	かつては生息・生育が確認されていたにもかかわらず、近年長期(およそ 50 年間)にわたって確実な生存情報がなく、千葉県から絶滅した可能性の強い生物。
	野生絶滅生物 (EW)	かつては千葉県に生息・生育していた生物の種類が、野生・自生では見られなくなったにもかかわらず、かつて千葉県に野生していた個体群の子孫が、飼育・栽培などによって、維持されているもの。特に埋土種子や埋土胞子などから再生した個体がありながら、本来の自生地では環境の変化によって生息・生育が維持できない状態の生物。
	最重要保護生物(A)	個体数が極めて少ない、生息・生育環境が極めて限られている、生息・生育地のほとんどが 環境改変の危機にある、などの状況にある生物。放置すれば近々にも千葉県から絶滅、ある いはそれに近い状態になるおそれがあるもの。
6	重要保護生物(B)	個体数がかなり少ない、生息・生育環境がかなり限られている、生息・生育地のほとんどで 環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、近い将来カテゴリーA への移行が必至と考えられるもの。
	要保護生物(C)	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、将来カテゴリーBに移行することが予測されるもの。
	一般保護生物(D)	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば個体数の減少は避けられず、自然環境の構成要素としての役割が著しく衰退する可能性があり、将来カテゴリーCに移行することが予測されるもの。
	保護参考雑種(RH)	自然界において形成されることが稀な雑種であって、個体数が著しく少なく、分布地域および生育環境が著しく限定されているもの。
	消息不明・絶滅生物 (X)	かつては生息・生育が確認されていたにもかかわらず、近年長期にわたって確実な生存情報 がなく、千葉市から絶滅した可能性の高い生物。
	最重要保護生物(A)	個体数が極めて少ない、生息・生育環境が極めて限られている、生息・生育地のほとんどが 環境改変の危機にある、などの状況にある生物。放置すれば近々にも千葉市から絶滅、ある いはそれに近い状態になるおそれがあるもの。
7	重要保護生物(B)	個体数がかなり少ない、生息・生育環境がかなり限られている、生息・生育地の多くで環境 改変の可能性が高い、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、 近い将来カテゴリーAへの移行が必至と考えられるもの。
	要保護生物(C)	個体数が少ない、生息・生育環境が限られている、生息・生育地の多くで環境改変の可能性がある、などの状況にある生物。放置すれば著しい個体数の減少は避けられず、将来カテゴリーB または A に移行することが予測されるもの。
× 1.4℃	★中の①~②は 表 6-1 31 に示した	ナム - ナth ボロー だし アレフ

注)表中の①~⑦は、表 6-1.31 に示した法令、文献番号と一致している。

(2) 文献調査により確認された注目すべき種

① 哺乳類

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている注目すべき動物種(哺乳類)は、表 6-1.33に示すとおり、10科19種である。

表6-1.33 注目すべき動物種(哺乳類)の状況

NT.	刊力	年 4			į	指定状況			
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
1	トガリネズミ科	ジネズミ						D	
2	モグラ科	ヒミズ						D	A
3	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ						С	
4		キクガシラコウモリ						С	
5	ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ						В	
6		ヒナコウモリ						情報不足	
7		ユビナガコウモリ						D	
8	オナガザル科	ニホンザル						С	
9	ウサギ科	ノウサギ	0						В
10	リス科	ニホンリス						С	A
11	ネズミ科	ハタネズミ							A
12		アカネズミ	0						С
13		ヒメネズミ						D	A
14		カヤネズミ						D	В
15	イヌ科	タヌキ	0						В
16		キツネ						В	Х
17	イタチ科	テン	1					D	
18		イタチ							В
19		ニホンアナグマ						С	Х
合計	10 科	19 種	0種	0種	0種	0種	0種	14 種	11種

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物
- 注3) ヒナコウモリは、千葉県内において、これまでの報告数が少数のため、"情報不足"としている。

② 鳥類

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている注目すべき動物種(鳥類)は、表 $6-1.34(1)\sim(4)$ に示すとおり、38科127種である。

表6-1.34(1) 注目すべき動物種(鳥類)の状況

N	I) b					指定状涉	2		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
1	カイツブリ科	カイツブリ						С	С
2		カンムリカイツブリ						D	С
3	ウ科	カワウ						D	
4	サギ科	サンカノゴイ					EN	A	
5		ヨシゴイ					NT	A	A
6		ミゾゴイ					VU	A	
7		ダイサギ						С	С
8		チュウサギ					NT	В	С
9		コサギ						С	В
10		カラシラサギ					NT	A	
11	トキ科	クロツラヘラサギ					EN	A	
12	カモ科	オシドリ					DD	В	С
13		トモエガモ					VU	В	В
14		ヨシガモ						В	В
15		オカヨシガモ						С	С
16		アカハジロ					DD	A	
17		スズガモ						D	С
18		クロガモ							В
19		ビロードキンクロ						В	
20		シノリガモ						D	
21		ホオジロガモ						В	
22		ウミアイサ						D	
23	タカ科	ミサゴ					NT	В	В
24		ハチクマ					NT	В	
25		トビ						D	В
26		オジロワシ	天			国内	VU	В	
27		オオワシ	天			国内	VU	В	
28		オオタカ				国内	NT	В	В
29		ツミ						С	В
30		ハイタカ					NT	В	С
31		ノスリ						С	С
32		サシバ					VU	A	В
33		チュウヒ					EN	A	В
34	ハヤブサ科	ハヤブサ				国内	VU	В	С
35		チョウゲンボウ						D	

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.34(2) 注目すべき動物種(鳥類)の状況

科名 ジ科 ル科 イナ科	種名 ウズラ ヤマドリ クロヅル ナベヅル カナダヅル マナヅル クイナ ヒクイナ シマクイナ	4	2	3	国際国際	© VU DD VU	6 A C C C C C	7
儿科	ヤマドリ クロヅル ナベヅル カナダヅル マナヅル クイナ ヒクイナ					DD VU	C C	
	クロヅル ナベヅル カナダヅル マナヅル クイナ ヒクイナ					VU	C C	
	ナベヅル カナダヅル マナヅル クイナ ヒクイナ					VU	С	
イナ科	カナダヅル マナヅル クイナ ヒクイナ							
イナ科	マナヅル クイナ ヒクイナ				国際	**	С	
イナ科	クイナ ヒクイナ				国際	* **		
イナ科	ヒクイナ					VU	С	
							X	A
	シマクイナ					NT	A	A
						EN	A	
	バン						В	В
	オオバン						С	С
マシギ科	タマシギ					VU	A	A
ドリ科	コチドリ						В	В
	イカルチドリ						С	В
	ムナグロ						D	С
						DD	A	
	タゲリ						С	В
ギ科	キョウジョシギ						С	В
	トウネン						D	В
	ウズラシギ						В	В
	ハマシギ					NT	В	A
	キリアイ						В	A
	ツルシギ					VU	В	A
	アオアシシギ						D	С
	クサシギ						D	С
						VU	В	A
	キアシシギ						С	В
	イソシギ						A	В
	ソリハシシギ						С	В
	オグロシギ						С	В
	ホウロクシギ				国際	VU	A	В
	チュウシャクシギ						С	С
	ハリモモチュウシャク						A	
							A	
						NT	A	
						VU	A	В
						VU	A	<u> </u>
モメ科			1			****		C
1 421			-					В
个 件						EN		-
	ドリ科 イタカシギ科 バメチドリ科 モメ科 ト科	ドリ科	ドリ科	ドリ科	ドリ科	ドリ科	ドリ科	ドリ科

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表 6-1.34(3) 注目すべき動物種(鳥類)の状況

N	11 b	任力				指定状況			
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
77	カッコウ科	カッコウ						С	
78		ツツドリ						С	
79		ホトトギス						С	В
80	フクロウ科	トラフズク						С	В
81		コミミズク						A	В
82		オオコノハズク						В	
83		アオバズク						A	A
84		フクロウ						В	A
85	ヨタカ科	ヨタカ					NT	X	A
86	アマツバメ科	ヒメアマツバメ						С	
87		アマツバメ						A	
88	カワセミ科	ヤマセミ						В	
89		カワセミ	Ì					С	С
90	キツツキ科	アオゲラ						С	
91		アカゲラ						С	
92	ヒバリ科	ヒバリ						D	В
93	ツバメ科	ツバメ						D	С
94] 	コシアカツバメ						В	
95		イワツバメ						D	С
96	セキレイ科	キセキレイ						В	В
97		セグロセキレイ							С
98	ミソサザイ科	ミソサザイ						С	
99	イワヒバリ科	イワヒバリ						С	
100		カヤクグリ	Ì					D	
101	ツグミ科	イソヒヨドリ						С	
102		トラツグミ						A	С
103		クロツグミ						A	
104		アカコッコ	天				EN	A	
105	ウグイス科	ヤブサメ						С	С
106		ウグイス							С
107		オオセッカ				国内	EN	A	
108		コヨシキリ						D	В
109		オオヨシキリ						D	С
110		センダイムシクイ						С	
111	2.1.6	セッカ						D	С
112	ヒタキ科	キビタキ						A	
113	_	オオルリーサイバタキ			-			В	-
114	10分件にある。 例は	コサメビタキ		L			今 かむ	A	

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表 6-1.34(4) 注目すべき動物種(鳥類)の状況

N	T) b	任力	指定状況								
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7		
115	カササギヒタキ科	サンコウチョウ						A			
116	エナガ科	エナガ							С		
117	シジュウカラ科	ヤマガラ							С		
118	メジロ科	メジロ							С		
119	ホオジロ科	ホオジロ						С	В		
120]	コジュリン					VU	A			
121		ホオアカ						С			
122]	カシラダカ							С		
123]	クロジ						D			
124		オオジュリン						D	С		
125	アトリ科	ハギマシコ						С			
126		イカル						D			
127	カラス科	カケス						С	С		
合計	38 科	127 種	3種	0種	0種	8種	39 種	119 種	73 種		

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

③ 爬虫類

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている注目すべき動物種(爬虫類)は、表 6-1.35に示すとおり、7科13種である。

表6-1.35 注目すべき動物種(爬虫類)の状況

N	科名	4年 夕				指定状況			
No.		種名	1	2	3	4	5	6	7
1	イシガメ科	ニホンイシガメ					NT	A	A
2		クサガメ						情報不足	С
3	スッポン科	ニホンスッポン					DD	情報不足	X
4	ヤモリ科	ニホンヤモリ						D	С
5	トカゲ科	ニホントカゲ						В	В
6	カナヘビ科	ニホンカナヘビ						D	
7	ナミヘビ科	ヒバカリ						D	С
8		シロマダラ						В	В
9		アオダイショウ						D	С
10		シマヘビ						С	В
11		ジムグリ						В	В
12		ヤマカガシ						D	С
13	クサリヘビ科	ニホンマムシ						В	В
合計	7科	13 種	0種	0種	0種	0種	2種	13 種	12 種

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明·絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物
- 注3) クサガメは、分子遺伝学的研究によって外来種であると判定されたが、在来種である可能性も残されているため"情報不足"としている。
- 注4) ニホンスッポンは、飼育個体が逃げ出した可能性があるため"情報不足"としている。

④ 両生類

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている注目すべき動物種(両生類)は、表 6-1.36に示すとおり、5科11種である。

表6-1.36 注目すべき動物種(両生類)の状況

N	A) A	廷 友			;	指定状况	_		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
1	サンショウウオ科	トウキョウサンショウウオ					VU	A	A
2	イモリ科	アカハライモリ					NT	A	A
3	ヒキガエル科	アズマヒキガエル						С	С
4	アカガエル科	タゴガエル						В	
5		ニホンアカガエル						A	A
6		ヤマアカガエル						С	
7		トウキョウダルマガエル					NT	В	A
8		ツチガエル						A	X
9	アオガエル科	シュレーゲルアオガエル						D	С
10		モリアオガエル						С	
11		カジカガエル						В	
合計	5科	11 種	0種	0種	0種	0種	3種	11種	7種

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示して いる。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。 ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、 LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

⑤ 昆虫類

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている注目すべき動物種(昆虫類)は、表 6-1.37(1)~(12)に示すとおり、134科420種である。

表6-1.37(1) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

No.	—————————————————————————————————————	種名				指定状况	2		
NO.	什名	性 石	1	2	3	4	5	6	7
1	ヒラタカゲロウ科	サトキハダヒラタカゲロウ						A	A
2	ヒトリガカゲロウ科	ヒトリガカゲロウ					NT	A	
3	フタオカゲロウ科	オオフタオカゲロウ							С
4	シロイロカゲロウ科	アカツキシロカゲロウ					NT	D	
5	マダラカゲロウ科	イシワタマダラカゲロウ						D	
6	ヒメシロカゲロウ科	ミツトゲヒメシロカゲロウ						D	
7	アオイトトンボ科	ホソミオツネントンボ							В
8		アオイトトンボ						С	В
9		オオアオイトトンボ							С
10		オツネントンボ						A	
11	イトトンボ科	ホソミイトトンボ						A	A
12		キイトトンボ						С	A
13		ベニイトトンボ					NT	A	
14		ヒヌマイトトンボ					EN	A	
15		モートンイトトンボ					NT	В	A
16		セスジイトトンボ						С	
17		オオセスジイトトンボ					EN	A	
18		ムスジイトトンボ						В	A
19		オオイトトンボ						В	В
20	モノサシトンボ科	モノサシトンボ						С	
21		オオモノサシトンボ					EN	A	
22	カワトンボ科	ハグロトンボ							С
23		ニホンカワトンボ							С
24	ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ					NT	В	
25		アオヤンマ					NT	В	В
26		マルタンヤンマ						С	
27		クロスジギンヤンマ						D	
28		ギンヤンマ							С
29		コシボソヤンマ						С	
30		カトリヤンマ						В	
31		ヤブヤンマ						D	
32		サラサヤンマ						D	В

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(2) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

N.T.	T) b	任力			-	指定状况	2		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
33	サナエトンボ科	ミヤマサナエ						A	
34		ヤマサナエ						D	С
35		キイロサナエ					NT	В	
36		ダビドサナエ						С	
37		オナガサナエ						В	
38		アオサナエ						В	
39		ホンサナエ						В	
40		ウチワヤンマ						D	A
41		オジロサナエ						A	
42		ナゴヤサナエ					VU	A	
43		コサナエ						В	
44	エゾトンボ科	トラフトンボ						A	A
45		オオヤマトンボ							В
46		コヤマトンボ							В
47		キイロヤマトンボ					NT	A	
48		ハネビロエゾトンボ					VU	A	
49		タカネトンボ						В	
50	トンボ科	ショウジョウトンボ							С
51		コフキトンボ							С
52		ョツボシトンボ						A	
53		ハラビロトンボ						В	В
54		コシアキトンボ							С
55		チョウトンボ						D	В
56		コノシメトンボ						D	С
57		マユタテアカネ							С
58		マイコアカネ							С
59		ヒメアカネ						A	
60		リスアカネ						В	
61		ネキトンボ						A	
62	オオゴキブリ科	オオゴキブリ						D	
63	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ						С	
64	カマキリ科	ヒナカマキリ						D	
65	カワゲラ科	クロヒゲカワゲラ						D	
66	アミメカワゲラ科	フタスジクサカワゲラ							С
		(アイズクサカワゲラとし							
67		て記録された) クサカワゲ						A	
		ラ属の一種							
68	クツワムシ科	クツワムシ		払の巫り				С	A

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧II類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(3) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

N	彩点	廷女	指定状況							
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7	
69	ツユムシ科	エゾツユムシ							С	
70	キリギリス科	ヒガシキリギリス							В	
71		オオクサキリ						A		
72		カスミササキリ						A		
73		ヒサゴクサキリ						В		
74	マツムシ科	クチキコオロギ						D		
75		カヤコオロギ						A		
76		マツムシ						D		
77	コオロギ科	オオオカメコオロギ						A		
78		クロツヤコオロギ						В		
79		ナツノツヅレサセコオロギ						D		
80		コガタコオロギ						В		
81	ヒバリモドキ科	キンヒバリ							С	
82		リュウキュウチビスズ						В		
83	バッタ科	ヤマトマダラバッタ						A		
84		ショウリョウバッタモドキ							С	
85		イナゴモドキ						A		
86	イナゴ科	ヤマトフキバッタ							В	
87		セグロイナゴ						A	X	
88	ヒシバッタ科	ボウソウサワヒシバッタ						В		
89	ナナフシ科	トゲナナフシ						С		
90	セミ科	ヒメハルゼミ						D		
91		ヒグラシ							С	
92		ハルゼミ						A	A	
93	サシガメ科	オオトビサシガメ							С	
94		クロバアカサシガメ						С	С	
95	ハナカメムシ科	ズイムシハナカメムシ					NT	A		
96	マキバサシガメ科	キバネアシブトマキバサシ						D		
96	マイハリンカメ科	ガメ						В		
97	ヘリカメムシ科	アズキヘリカメムシ						С		
98	ナガカメムシ科	ヒメジュウジナガカメムシ						D		
99	ツノカメムシ科	オオツノカメムシ						С		
100		ベニモンツノカメムシ						С	С	
101	ツチカメムシ科	フタボシツチカメムシ						С		
102		ヨコヅナツチカメムシ						С		

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(4) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

103	N-	科名				-	指定状況	L		
104	No.		種名	1	2	3	4	5	6	7
105	103	カメムシ科							С	
106	104		ハナダカカメムシ						D	С
107	105								A	
108	106		トホシカメムシ						С	
109 キンカメムシ科 オオキンカメムシ C C C C C C C C C	107		イネカメムシ						С	
110	108		ルリクチブトカメムシ						D	
111 アメンボ科 オオアメンボ NT B 113 エサキアメンボ NT B 114 イトアメンボ科 イトアメンボ VU A 115 コオイムシ科 NT A 116 タガメ VU A 117 タイコウチ科 ヒメミズカマキリ B 118 ナベブタムシ科 ナベブタムシ EN A 119 コバンムシ科 コバンムシ EN A 120 アブラムシ科 コバンムシ EN A 120 アブラムシ科 マン・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア	109	キンカメムシ科	オオキンカメムシ						С	
112 エサキアメンボ NT B 113 ハネナシアメンボ B 114 イトアメンボ科 イトアメンボ VU A 115 コオイムシ科 コオイムシ NT A 116 タガメ VU A 117 タイコウチ科 ヒメミズカマキリ B 118 ナベブタムシ科 ナベブタムシ A 119 コバンムシ科 コバンムシ EN A 120 アブラムシ科 コバンムシ EN A 121 ヘビトンボ科 C C 122 ヘビトンボ科 C C 123 センブリ科 ネグロセンブリ A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 キバネツノトンボ C C 127 ツノアゲムシ科 キンタトゲシリアゲ B B 130 カガンボモドキ科 ガガンボモドキ C C 131 ホシシリアゲ D B 132 マンジリアゲラ科 この C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134	110								С	С
113 ハネナシアメンボ B 114 イトアメンボ科 イトアメンボ VU A 115 コオイムシ科 コオイムシ NT A 116 タガメ WU A 117 タイコウチ科 ヒメミズカマキリ B 118 ナベブタムシ科 ナベブタムシ A 119 コバンムシ科 ロバンムシ EN A 120 アブラムシ科 コバンムシ EN A 121 ヘビトンボ科 C C 122 クイリククロスジヘビトンボ C C 123 センブリ科 A A A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 サバネツノトンボ C C 127 アイネリモドキ科 ガガンボモドキ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ B B 130 カリアゲムシ科 D B 131 ホンシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C C 134 ツノツツトビケラ科 フノツットビケララ C C	111	アメンボ科								
114	112							NT		
115 コオイムシ科 コオイムシ NT			-						В	
116 タガメ VU A 117 タイコウチ科 ヒメミズカマキリ B 118 ナベブタムシ科 ナベブタムシ A 119 コバンムシ EN A 120 アブラムシ科 コバンムシ EN A 121 ヘビトンボ科 クイリククロスジヘビトンボ C 122 ヘビトンボ科 C C 123 センブリ科 ネグロセンブリ A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 キバネツノトンボ C C 127 フリトンボ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B B 130 オマトシリアゲ D B 131 ボシシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キヨスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	114							VU	A	
117 タイコウチ科 ヒメミズカマキリ B 118 ナベブタムシ科 ナベブタムシ A 119 コバンムシ科 コバンムシ EN A 120 アブラムシ科 ウィリククロスジヘビトン ボ C 121 ヘビトンボ科 C C 122 ベビトンボ C C 123 センブリ科 ネグロセンブリ A A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 キバネツノトンボ C C 127 マノトンボ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B B 130 キンタトゲシリアゲ D B 131 ボシシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キヨスミナガレトビケラ C C 134 ツノツットビケラ科 フリツットビケラ C C	115	コオイムシ科						NT		A
118 ナベブタムシ科 ナベブタムシ A 119 コバンムシ科 ロバンムシ EN A 120 アブラムシ科 ヤシャブシトゲマダラアブラムシ C 121 ヘビトンボ科 C C 122 ヘビトンボ C C 123 センブリ科 ネグロセンブリ A A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 ヒメカマキリモドキ C C 127 マノトンボ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ボシシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キヨスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツットビケラ C	116							VU	A	
119 コバンムシ科 コバンムシ EN A 120 アプラムシ科 ヤシャプシトゲマダラアプラムシ C 121 ヘビトンボ科 タイリククロスジヘビトンボークロスジヘビトンボークでは、アンドンボークを含めるシーのでは、これを含めるシークを含める。これを含めるシークを含めることを含める。これを含めることを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含める。これを含めることを含める。これを	117								В	
120 アブラムシ科 ヤシャブシトゲマダラアプラムシ C 121 ヘビトンボ科 タイリククロスジヘビトンボ C 122 ヘビトンボ C 123 センブリ科 ネグロセンブリ A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 C C C 127 ツノトンボ科 C C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B B 130 ホシシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C C 132 ミスジシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C C 134 ツノツットビケラ科 フノツットビケラ C C	118								A	
120 アファムシ科 ラムシ C 121 ヘビトンボ科 グイリククロスジヘビトンボ C 122 ヘビトンボ C 123 センブリ科 ネグロセンブリ A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 サバネツノトンボ C C C 127 ツノトンボ C C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツットビケラ C C	119	コバンムシ科						EN	A	
121	120	アブラムシ科								С
122 ヘビトンボ C 123 センブリ科 ネグロセンブリ A 124 ラクダムシ科 ラクダムシ A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 ヒメカマキリモドキ C C 127 ツノトンボ C C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C C 132 エスジシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツットビケラ科 ツノツットビケラ C	121	ヘビトンボ科								С
124 ラクダムシ科 ラクダムシ A 125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 キバネツノトンボ C C 127 ツノトンボ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C C 132 マンジシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ科 C	122		ヘビトンボ							С
125 カマキリモドキ科 ヒメカマキリモドキ B C 126 ツノトンボ科 キバネツノトンボ C C 127 ツノトンボ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C C 132 ミスジシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C C	123	センブリ科	ネグロセンブリ							A
126 ツノトンボ科 キバネツノトンボ C 127 ツノトンボ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C C 132 マンシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ科 C	124	ラクダムシ科	ラクダムシ							A
127 ツノトンボ C C 128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C 132 ミスジシリアゲ C 133 ナガレトビケラ科 キヨスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	125	カマキリモドキ科	ヒメカマキリモドキ						В	С
128 ガガンボモドキ科 ガガンボモドキ C A 129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C C 132 ミスジシリアゲ C C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	126	ツノトンボ科	キバネツノトンボ							С
129 シリアゲムシ科 キシタトゲシリアゲ B 130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C 132 ミスジシリアゲ C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	127		ツノトンボ						С	С
130 ヤマトシリアゲ D B 131 ホシシリアゲ C 132 ミスジシリアゲ C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	128	ガガンボモドキ科	ガガンボモドキ						С	A
131 ホシシリアゲ C 132 ミスジシリアゲ C 133 ナガレトビケラ科 キヨスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	129	シリアゲムシ科	キシタトゲシリアゲ						В	
132 ミスジシリアゲ C 133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	130		ヤマトシリアゲ						D	В
133 ナガレトビケラ科 キョスミナガレトビケラ C 134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	131		ホシシリアゲ						С	
134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	132		ミスジシリアゲ						С	
134 ツノツツトビケラ科 ツノツツトビケラ C	133	ナガレトビケラ科	キョスミナガレトビケラ						С	
135 カクスイトビケラ科 オオハラツツトビケラ C	134	ツノツツトビケラ科							С	
	135	カクスイトビケラ科	オオハラツツトビケラ						С	

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(5) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

,,	TV 4	15. 6			-	指定状況	7		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
136	カタツムリトビケラ 科	カタツムリトビケラ						С	
137	カクツツトビケラ科	トウヨウカクツツトビケラ						D	С
138	ヒゲナガトビケラ科	ミサキツノトビケラ						A	
139	エグリトビケラ科	セグロトビケラ						В	
140		エグリトビケラ						В	
141		トビイロトビケラ						С	
142		ホタルトビケラ							В
143		ウルマートビイロトビケラ						С	
144	トビケラ科	ツマグロトビケラ						A	
145	マルバネトビケラ科	マルバネトビケラ						D	В
146	ケトビケラ科	グマガトビケラ						С	С
147	コウモリガ科	コウモリガ							A
148	セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種						В	
149		ミヤマセセリ						В	В
150		ホソバセセリ						В	В
151		ギンイチモンジセセリ					NT	D	
152		ヒメキマダラセセリ						D	
153		ミヤマチャバネセセリ						С	
154		オオチャバネセセリ						В	С
155	シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ						С	С
156		ウラゴマダラシジミ						С	
157		ルーミスシジミ					VU	С	
158		コツバメ						В	В
159		オオミドリシジミ						С	С
160		アカシジミ						С	С
161		ウラナミアカシジミ						С	С
162		ミドリシジミ						С	В
163		トラフシジミ						D	
164		ウラキンシジミ						A	
165		シルビアシジミ					EN	В	X
166	タテハチョウ科	コムラサキ						С	В
167		ミドリヒョウモン						С	В
168		オオウラギンスジヒョウモ ン						A	A
169		スミナガシ本土亜種						В	
170		ウラギンヒョウモン						A	
171		アサマイチモンジ						С	Х
172		ジャノメチョウ						С	С
173		ヤマキマダラヒカゲ房総亜 種						С	
N = 1		1里 -1 91 実6_1 99及が以下に子子汁	A 1.#1		71.	Na mada VII.	A (.+b	1-1-11-	LIA de III NO

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(6) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

No.	科名	種名			;	指定状况	2		
NO.	件名	(埋石)	1	2	3	4	(5)	6	7
174	タテハチョウ科	クモガタヒョウモン						A	X
175		ミスジチョウ						С	В
176		ヒオドシチョウ						В	В
177		アサギマダラ						D	
178		オオムラサキ					NT	В	A
179	アゲハチョウ科	オナガアゲハ						С	С
180	アゲハモドキガ科	アゲハモドキ							В
181	イボタガ科	イボタガ							В
182	カレハガ科	カレハガ							A
183		ヤマダカレハ							A
184	ヤママユガ科	エゾヨツメ							В
185		ヤママユ							С
186		ウスタビガ							В
187		シンジュサン本州以西亜種							В
188		クスサン							В
189	スズメガ科	ホソバスズメ							A
190		オビグロスズメ						A	
191	シャチホコガ科	ハイイロシャチホコ							В
192		カバイロシャチホコ					NT	A	
193	ヒトリガ科	マエアカヒトリ					NT	X	X
194		ヒトリガ						D	X
195	ヤガ科	ウスズミケンモン					NT	A	
196		フサヒゲオビキリガ							С
197		ヒメハガタヨトウ							В
198		ガマヨトウ					VU	С	
199		コシロシタバ					NT	D	
200		オニベニシタバ						D	
201		ジョナスキシタバ						D	В
202		コガタキシタバ							С
203		アトジロキリガ							В
204		ホソバオビキリガ						С	A
205		サヌキキリガ						D	
206		ウスミミモンキリガ					NT	D	A
207		ミスジキリガ					NT	В	X

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(7) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

N	科名	種名			-	指定状況	2		
No.		埋石	1	2	3	4	5	6	7
208	ヤガ科	ヤクシマキリガ						В	
209		カバイロキヨトウ						В	
210		ツマグロキヨトウ						В	
211		オオチャバネヨトウ					VU	С	A
212		マエグロシラオビアカガネ							В
212		ヨトウ							Б
213		イチモジヒメヨトウ					VU	С	
214		クロスジキリガ							С
215	コブガ科	ツクシアオリンガ							С
216	アブ科	ヨスジキンメアブ						D	
217		イシハラアブ						A	
218		ハタケヤマアブ						D	
219		シロスネアブ						D	
220		キンイロアブ						В	
221	ハナアブ科	マガリモンハナアブ						В	
222		カクモンハラブトハナアブ						С	
223		カワムラモモブトハナアブ						В	
224		コブアリノスアブ						A	
225		カルマイツヤタマヒラタア ブ						С	
226		キヒゲアシブトハナアブ						В	
227	クロバエ科	シリブトミドリバエ						D	
228	イエバエ科	コガタトゲアシメマトイ						В	
229	ニクバエ科	ヒグラシヤチニクバエ						В	
230		クダマキモドキカスミニク バエ						A	
231		バッタヤドリニクバエ						A	
232		キーガンニクバエ						С	
233		メッツゲルニクバエ						A	
234		シュッツェニクバエ						С	
235	ヒメイエバエ科	ホリヒメイエバエ						В	
236	1	シナハマヒメイエバエ						В	
237		ホホヒゲヒメイエバエ						В	
238	ホソクビゴミムシ科	アオバネホソクビゴミムシ						D	С
239		コホソクビゴミムシ						D	
	S-11/2 - 0 0 1 1 1 1				· .				Life when I Is No

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(8) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

N	IN A	年 5			1	旨定状況	2		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
240	オサムシ科	クロカタビロオサムシ						A	
241		クロオサムシ関東地方北西部亜種						С	
242		コクロナガオサムシ東北地方南部						С	
242		亜種							
243		マイマイカブリ関東・中部地方亜						С	A
243		種						C	Λ
244		アカガネオサムシ本州亜種					VU	В	В
245		ルイスオサムシ房総半島南部亜種						D	
246		セアカオサムシ					NT	В	В
247		コキベリアオゴミムシ							С
248		クマガイクロアオゴミムシ					NT	A	
249		コアトワアオゴミムシ						D	С
250		アオヘリアオゴミムシ					CR	A	
251		キバナガミズギワゴミムシ						С	
252		コハラアカモリヒラタゴミムシ						С	
253		オサムシモドキ						С	
254		スナハラゴミムシ					VU	A	
255		キイロホソゴミムシ					EN	A	
256		ムネアカチビヒョウタンゴミムシ						D	
257		コハンミョウモドキ					EN	A	
258		チビアオゴミムシ					EN	A	
259		オオキベリアオゴミムシ						D	С
260		ヤホシゴミムシ							С
261		キベリマルクビゴミムシ					EN	В	
262		オオマルクビゴミムシ						В	
263		オオトックリゴミムシ					NT	D	
264		ギョウトクコミズギワゴミムシ					VU	A	
265		カズサヒラタゴミムシ						В	
266		トネガワナガゴミムシ						D	
267		イスミナガゴミムシ					VU	A	
268		カジムラヒメナガゴミムシ						С	
269		コアオアトキリゴミムシ						D	

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX: 絶滅、EW: 野生絶滅、CR+EN: 絶滅危惧I類、CR: 絶滅危惧IA類、EN: 絶滅危惧IB類、VU: 絶滅危惧I類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足、LP: 地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(9) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

NT.	IN H	年力	指定状況						
No.	科名	種名	1	2	3	4	(5)	6	7
270	ハンミョウ科	カワラハンミョウ					EN	A	X
271		アイヌハンミョウ					NT	В	
272		ニワハンミョウ							A
273		ハンミョウ							A
274		コニワハンミョウ							В
275		ホソハンミョウ					VU	A	A
276		コハンミョウ						D	В
277	ゲンゴロウ科	トダセスジゲンゴロウ					VU	В	A
278		ゲンゴロウ					VU	X	X
279		マルコガタノゲンゴロウ				国内	CR		
280		コガタノゲンゴロウ					VU	A	
281		シャープゲンゴロウモドキ				国内	CR	A	
282		ハイイロゲンゴロウ							С
283		マルガタゲンゴロウ					VU	В	
284		シマゲンゴロウ					NT	D	В
285		オオイチモンジシマゲンゴロ ウ					EN	A	A
286		キボシツブゲンゴロウ					NT	A	
287		オオヒメゲンゴロウ						С	
288	ミズスマシ科	オオミズスマシ					NT	С	A
289		コミズスマシ					EN	D	
290		ヒメミズスマシ					EN	С	
291		ミズスマシ					VU	С	A
292		コオナガミズスマシ					VU	D	
293	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ					VU	В	
294		コガシラミズムシ							С
295	コツブゲンゴロウ科	キボシチビコツブゲンゴロウ					EN	A	
296	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ						С	
297	ガムシ科	コガムシ					DD	D	С
298		ガムシ					NT	С	
299	シデムシ科	ベッコウヒラタシデムシ						D	
300		ヤマトモンシデムシ					NT	В	В
301		オニヒラタシデムシ						D	
302	ハネカクシ科	オオツノハネカクシ					DD	D	
303		クチキクシヒゲムシ						С	
304	ムネアカセンチコガネ科	ムネアカセンチコガネ						D	С
305	センチコガネ科	オオセンチコガネ						D	A
306	クワガタムシ科	ネブトクワガタ本土亜種						A	
307		オオクワガタ					VU	A	
308		ヒラタクワガタ本土亜種						В	
309		ミヤマクワガタ						D	A
310		ノコギリクワガタ							С
注 1) ‡	15定状況の①~⑦は 表6-1 31	表6-1.32及び以下に示す法令、文献	北の悉号	レ―劲1	当該注	· 会 · 会 ·	における	指定狀況	を示し

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考維種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(10) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

	TV H	任力	指定状況		兄				
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
311	アカマダラセンチコガネ科	アカマダラセンチコガネ						В	
312	コガネムシ科	ヒゲブトハナムグリ						С	
313		アカマダラハナムグリ					DD	В	
314		セマルオオマグソコガネ					DD	A	
315		オオフタホシマグソコガネ						В	
316		キバネマグソコガネ					NT	A	
317		ヒメキイロマグソコガネ					NT	A	
318		クロモンマグソコガネ					NT	A	
319		ゴホンダイコクコガネ						D	
320		コカブトムシ						D	С
321		ダルママルマグソコガネ					DD	A	
322		オオヒラタハナムグリ							В
323		アラメエンマコガネ					NT	A	
324		シロスジコガネ						С	X
325		クロカナブン							С
326		アオカナブン							С
327		トラハナムグリ						D	
328	コブスジコガネ科	オオコブスジコガネ					VU	A	
329	ナガハナノミ科	ヒゲナガハナノミ						D	С
330	タマムシ科	クロタマムシ						С	В
331		タマムシ						D	С
332		トゲフタオタマムシ						A	
333		アオタマムシ						В	A
334		アオマダラタマムシ						С	
335		クロマダラタマムシ						В	
336	コメツキムシ科	ウバタマコメツキ							С
337		フタモンウバタマコメツキ						D	
338		ルリツヤハダコメツキ						С	
339		カワイヒラアシコメツキ						С	
340		ヒゲコメツキ							С
341	ホタル科	ゲンジボタル						В	X
342		ヘイケボタル						С	A
343		ヒメボタル						A	
344		クロマドボタル						С	В
345	オオキノコムシ科	アカモンチビオオキノコムシ 千葉県亜種						D	
346	ツチハンミョウ科	マメハンミョウ							С
347		ヒメツチハンミョウ		754 I			(本) ア・ト)	С	

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤/EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(11) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

N	TN A	任力			-	指定状剂	Z		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
348	ゴミムシダマシ科	ナガニジゴミムシダマシ							С
349		オオモンキゴミムシダマシ						D	
350	カミキリムシ科	シロスジカミキリ							A
351		ハンノキカミキリ						A	
352		アカアシオオアオカミキリ						В	
353		ミドリカミキリ							С
354		ヒナルリハナカミキリ							С
355		ホソカミキリ						С	С
356		ホシベニカミキリ						D	С
357		ベーツヒラタカミキリ						В	
358		ベニバハナカミキリ						С	
359		チャイロヒメハナカミキリ						D	С
360		ネジロカミキリ						D	
361		ニセノコギリカミキリ						С	
362		セミスジコブヒゲカミキリ						D	
363		アオカミキリ							A
364		イボタサビカミキリ						D	
365		ヨツボシカミキリ					EN	В	В
366		アカハナカミキリ							С
367		アサカミキリ					VU	A	
368		オオトラカミキリ						A	
369		アオスジカミキリ						D	
370	ハムシ科	ハンノキハムシ							С
371		オオルリハムシ					NT	В	A
372		キアシネクイハムシ						С	
373		フトネクイハムシ						С	
374		キンイロネクイハムシ					NT	С	
375		イネネクイハムシ						D	
376		ジュンサイハムシ						С	A
377		シナノオオミズクサハムシ						A	
378		キヌツヤミズクサハムシ						В	
379		ウスグロタマノミハムシ						A	
380	ヒゲナガゾウムシ科	エゴヒゲナガゾウムシ						С	С
381		クロホシチビヒゲナガゾウム シ						В	

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

表6-1.37(12) 注目すべき動物種(昆虫類)の状況

	1) h	15 h	指定状況						
No.	科名	種名	1	2	3	4	⑤	6	7
382	オトシブミ科	イタヤハマキチョッキリ						D	
383		ゴマダラオトシブミ							В
384	ゾウムシ科	オオアオゾウムシ						С	С
385		エゴシギゾウムシ						D	С
386	イネゾウムシ科	ウキクサミズゾウムシ						В	
387	ミフシハバチ科	ワレモコウチュウレンジ						С	
388	コンボウハバチ科	ヨウロウヒラクチハバチ						В	
389	ヤドリキバチ科	トサヤドリキバチ					DD	С	
390	キバチ科	ヒゲジロキバチ						С	
391	クキバチ科	モンクキバチ						С	
392	セイボウ科	フジセイボウモドキ						В	
393		セイドウマルセイボウ						С	С
394	アリ科	ヒゲナガニセハリアリ							В
395		ヒラタウロコアリ							С
396	ドロバチ科	ハグロフタオビドロバチ						В	
397		キボシトックリバチ						С	
398	クモバチ科	ミイロツメボソクモバチ						С	
399		ムツボシクモバチ					NT	A	
400		スギハラクモバチ						С	
401	ツチバチ科	ヤスマツツチバチ						A	
402	ギングチバチ科	アカオビケラトリバチ					NT	В	
403		ニッポントゲアナバチ						С	В
404		コウライクモカリバチ					DD	В	
405		フクイジガバチモドキ					DD	В	
406	ドロバチモドキ科	ハクサンツヤアナバチ						С	
407		ニッポントゲアワフキバチ					DD	С	С
408		オオドロバチモドキ						С	
409		キアシハナダカバチモドキ					VU	В	С
410	ヒメハナバチ科	ヤスマツヒメハナバチ					DD	В	
411	ミツバチ科	シロスジフトハナバチ						A	
412		クロマルハナバチ					NT	С	С
413		シロスジヤドリハナバチ						С	
414	†	ウスルリモンハナバチ						A	
415	コハナバチ科	チバヤドリコハナバチ						С	
416	ハキリバチ科	フルカワフトハキリバチ	1				DD	A	A
417	ケアシハナバチ科	シロスジフデアシハナバチ						С	
418	ヒラタタマバチ科	ニホンヒラタタマバチ						С	
419	コマユバチ科	シブオナガコマユバチ	1					A	
420		ウマノオバチ					NT	С	
合計	134 科	420 種	0種	0種	0種	2種	91 種	347 種	172 種
							1		

注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。

- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

⑥ 魚類

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている注目すべき動物種(魚類)は、表 6-1.38に示すとおり、9科28種である。

表6-1.38 注目すべき動物種(魚類)の状況

N	II b				-	指定状况	2		
No.	科名	種名	1	2	3	4	5	6	7
1	ヤツメウナギ科	スナヤツメ類						A	A
2	ウナギ科	ニホンウナギ					EN		С
3	コイ科	ゲンゴロウブナ					EN		
4		キンブナ					VU	С	В
5		ギンブナ						D	С
6		ミヤコタナゴ	天			国内	CR	A	
7		タナゴ					EN	A	
8		アカヒレタビラ					EN	В	
9		ワタカ					CR		
10		ハス					VU		
11		オイカワ							С
12		アブラハヤ						В	
13		ウグイ							В
14		モツゴ						D	С
15		カマツカ						В	В
16		ツチフキ					EN		
17		ニゴイ						С	
18	ドジョウ科	ドジョウ					DD		
19		シマドジョウ						С	В
20		ホトケドジョウ					EN	С	A
21	ギギ科	ギバチ					VU	В	A
22	ナマズ科	ナマズ						В	В
23	メダカ科	ミナミメダカ					VU	В	A
24	サヨリ科	クルメサヨリ					NT	С	
25	ハゼ科	シロウオ					VU	D	
26		ジュズカケハゼ					NT	A	
27		旧トウヨシノボリ類							С
28		ヌマチチブ						D	С
合計	9科	28 種	1種	0種	0種	1種	16 種	19 種	15 種

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明・絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

⑦ 底生生物

対象事業実施区域及びその周辺で確認されている注目すべき動物種(底生生物)は、表6-1.39に示すとおり、19科35種である。

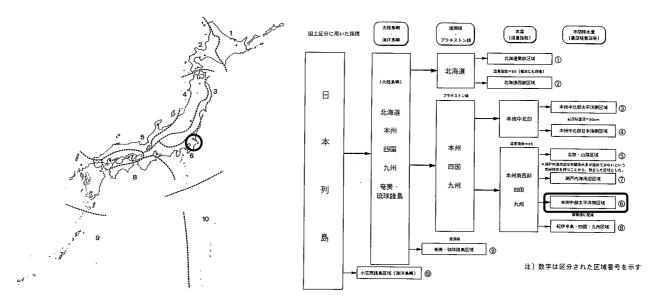
表6-1.39 注目すべき動物種(底生生物)の状況

M	門名	₩ 々	目名	科名	種名			捐	官定状法	兄		
No.	門名	綱名	日名	料名	性名	1	2	3	4	5	6	7
1	献	腹足綱	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	イシマキガイ						В	
2	軟体		原始紐舌目	タニシ科	マルタニシ					VU	D	С
3	動				オオタニシ					NT		С
4 5	物門		盤足目	カワニナ科	ヒタチチリメンカワニナ							С
	' '			イツマデガイ科	カタヤマガイ					CR+EN	A	
6				ミズゴマツボ科	ミズゴマツボ					VU	A	A
7				エゾマメタニシ科	マメタニシ					VU	A	
8			基眼目	ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ					DD	В	В
9					ミズコハクガイ					VU	A	A
10					トウキョウヒラマキガイ					DD	В	
11			柄眼目	オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ					NT	С	С
12		二枚貝網	イシガイ目	イシガイ科	カラスガイ					NT	A	X
13					イシガイ						D	A
14					マツカサガイ					NT	В	A
15			マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ					VU	A	С
16				マメシジミ科	ニホンマメシジミ						С	В
17		軟甲綱	ワラジムシ目	フナムシ科	ニホンヒメフナムシ							С
18				ホンワラジムシ科	オカメワラジムシ							С
19	<i>5:5</i> :	İ	エビ目	ヌマエビ科	ヤマトヌマエビ						С	
20	節足				ミゾレヌマエビ						A	A
21	足動				ヒメヌマエビ						A	
22	物門				トゲナシヌマエビ						A	
23	77				ヌマエビ						С	
24					ヌカエビ						С	A
25				テナガエビ科	シラタエビ							С
26					ミナミテナガエビ						D	
27					ヒラテテナガエビ						D	
28					コンジンテナガエビ						A	
29					テナガエビ						D	В
30					スジエビ						D	В
31					スジエビモドキ							С
32				サワガニ科	サワガニ						С	A
33				ムツハアリアケガニ科	カワスナガニ					NT	A	
34				モクズガニ科	モクズガニ						D	A
	苔虫 動物 門	被喉綱	ハネコケムシ目	ヒメテンコケムシ科	ヒメテンコケムシ							С
合計	3門	4 綱	10 目	19科	35 種	0種	0種	0種	0種	13 種	28 種	23 種

- 注1) 指定状況の①~⑦は、表6-1.31、表6-1.32及び以下に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。
- 注2) 各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ以下のことを示している。
- ① / 特天:特別天然記念物、国天:国指定天然記念物
- ② / 県天:県指定天然記念物
- ③ / 市天:市指定天然記念物
- ④ / 国際:国際希少野生動植物種、国内:国内希少野生動植物種、特国内:特定国内希少野生動植物種、緊急:緊急指定種
- ⑤ / EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧I類、CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧I類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、LP:地域個体群
- ⑥ / X:消息不明・絶滅生物、EW:野生絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物、D:一般保護生物、RH:保護参考雑種
- ⑦ / X:消息不明·絶滅生物、A:最重要保護生物、B:重要保護生物、C:要保護生物

6-1-14 生態系の状況

対象事業実施区域及びその周辺を含む千葉県は、「自然環境のアセスメント技術(I)」 (平成11年 環境庁)の生物多様性保全のための国土区分(試案)によると、図6-1.22に示すとおり本州中部太平洋側区域に属しており、大まかな生物群集としては「照葉樹林生物群集」の北限域に該当すると考えられる。潜在的な植生はシイやカシ類の常緑広葉樹が発達し、低木類はヤブツバキ、サカキなどの植生があったものと想定される。



出典:「自然環境のアセスメント技術 (I)」(平成11年 環境庁)

図 6-1.22 生物多様性保全のための国土区分(試案)及びその作成方法

対象事業実施区域及びその周辺は、土地利用現況図(図6-2.1参照)に示すとおり、主に森林や農用地となっており、北西側に一部住宅地がみられる。また、北東側には鹿島川、南側には都川といった水域が認められ、都川周辺には水田がみられる。これらを踏まえて対象事業実施区域及びその周辺を概観すると、市街地等の人為の環境と、多様な生物の生息基盤となる里山環境が隣接した環境といえる。

また、対象事業実施区域周辺の植生は、「6-1-12 植物の生育及び植生の状況」に示したとおりである。対象事業実施区域近傍は、西側は市街地や農用地が広がり樹林地は少ないが、東側は主にケヤキ・シラカシ群落、クヌギ・コナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林が混在する樹林地が広く分布しており、東側の樹林地には大径木を含む二次林も点在する。動物についても、「6-1-13 動物の生息の状況」に示したとおり、農用地と周辺の二次林など、里山環境を生息地とする種が主な生息種となっている。

生態系の基部では、分解者として土壌生物等が存在し、分解者が分解した養分を利用する 生産者として植物が位置している。その上位(第1次消費者)には、植物を栄養源とするバッタ科やチョウ科等の昆虫類、草食性の鳥類や小型哺乳類の一部等が位置している。また、その上位(第2次消費者)には、バッタ科やチョウ科等を捕食するトンボ科、カマキリ科、オサムシ科等の肉食性昆虫類、両生類・爬虫類、ヒタキ科やシジュウカラ科等の鳥類、トガリネズミ科等の哺乳類が位置している。さらに、その上位(第3次消費者)には、鳥類、哺乳類等を捕食するヘビ類、猛禽類(タカ科、ハヤブサ科)やイタチ等の哺乳類が位置する構造である。

6-1-15 景観の状況

1. 主要な眺望地点

対象事業実施区域周辺における、人が集まり眺望地点となり得る主要な地点は、表6-1.40 及び図6-1.23に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周辺の主要な眺望地点としては、街道や公園があげられ、北側 を東西方向にのびる御成街道、南東側に泉自然公園、西側に加曽利貝塚公園などが位置して いる。

表6-1.40 主要な眺望地点

市	区名	地点 番号	名称	眺望の状況
		1	御成街道	沿線に、当時休憩所として使われた御茶屋御殿 跡や、往時を彷彿させる長屋門などを望むこと ができる。
		2	泉自然公園	北総台地がつくりだす起伏に富んだ地形をいかし、春には桜、秋には紅葉など四季折々のさまざまな自然の風景を望むことができる。
		3	加曽利貝塚公園	国の指定史跡となっている加曽利貝塚があり、 貝塚の周辺には、クリ、クヌギなどの自然林や むかしながらの地形がよく残っており、史跡と 自然林を望むことができる。
千葉市	若葉区	4	千葉御茶屋御殿跡	徳川家康をはじめ、将軍家が鷹狩りに向かう際の休息所として利用したと伝えられる史跡であり、内郭を区画する土塁とその外周に彫り巡らされた薬研堀が非常に良好な状態で残されている。
		5	旧四関家住宅	四関家は、室町時代以降中野村(現千葉市若葉 区中野町)を所領した酒井氏の家臣で、酒井七 騎と呼ばれた武士の家柄である。各室共古民家 の面影をよく伝えるほか、各部の意匠仕上げも 優れ、県内古民家の中でも大規模で特に優れた 建築である。
		6	平和公園	「陽光と緑に囲まれた安らぎの聖地」をキャッチフレーズに、墓域を全面積の3分の1とし、残りを緑地や憩い安らぎが得られるレクリエーションスペースとした四季の草花の美しい霊園となっている。

出典:「千葉市観光ガイド」(千葉市観光協会ホームページ)

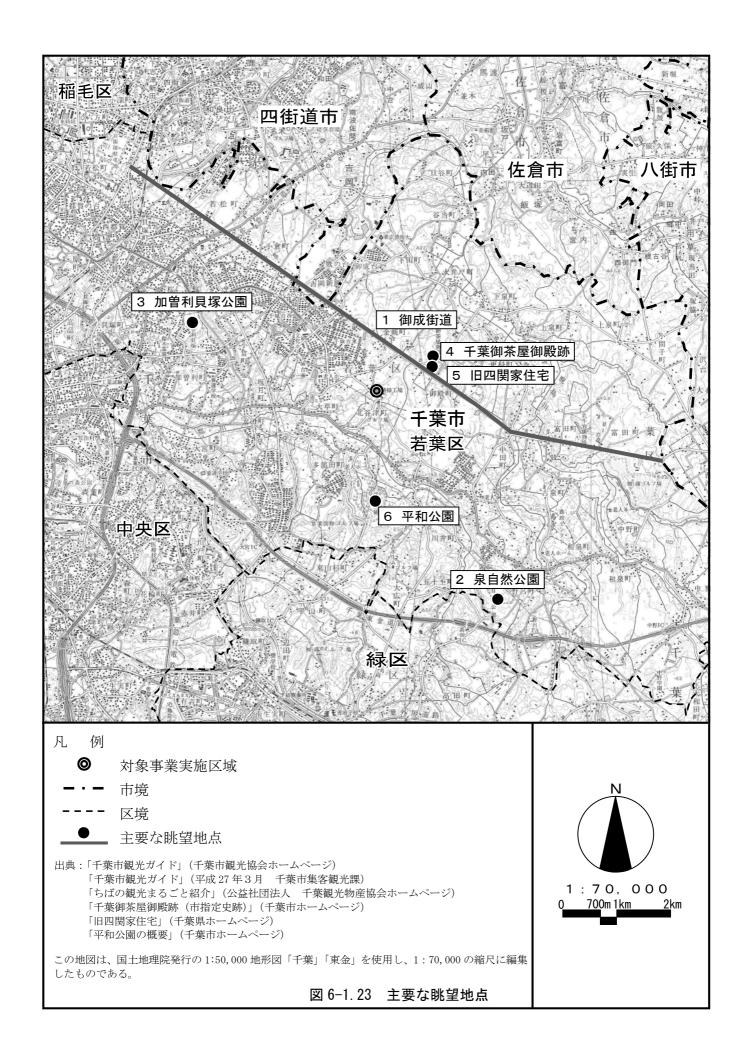
「千葉市観光ガイド」(平成27年3月 千葉市集客観光課) 「ちばの観光まるごと紹介」(公益社団法人 千葉観光物産協会ホームページ)

「千葉御茶屋御殿跡(市指定史跡)」(千葉市ホームページ)

「旧四関家住宅」(千葉県ホームページ) 「平和公園の概要」(千葉市ホームページ)

2. 景観資源

「第3回自然環境保全基礎調査 千葉県自然環境情報図」(平成元年 環境庁)によると、 対象事業実施区域及びその周辺に重要な自然景観資源はない。



6-1-16 人と自然とのふれあい活動の場の状況

対象事業実施区域周辺における主要な人と自然とのふれあい活動の場の状況は、表6-1.41及 び図6-1.24に示すとおりである。

対象事業実施区域の南西側には、大草谷津田いきものの里が隣接している。そのほか主要なものとして、対象事業実施区域南東側に泉自然公園、東側に中田やつ耕園(中田都市農業交流センター)、西側に加曽利貝塚公園などがある。

表6-1.41 主要な人と自然とのふれあい活動の場の状況

市区	名	地点 番号	名称
		1	泉自然公園
		2	都川水の里公園
		3	富田さとにわ耕園(富田都市農業交流センター)
	 若葉区	4	中田やつ耕園(中田都市農業交流センター)
 千葉市	石米匹 	5	大草谷津田いきものの里
米川		6	坂月川ビオトープ
		7	加曽利貝塚公園
		8	下田農業ふれあい館(下田都市農業交流センター)
	中央区	9	都市緑化植物園
		10	青葉の森公園
佐倉	市	11	西御門公園
	四街道市		四街道総合公園
四街道			美しが丘近隣公園
		14	四街道プレーパーク

出典:「千葉市観光ガイド」(千葉市観光協会ホームページ)

「千葉市観光ガイド」(平成27年3月 千葉市集客観光課)

「千葉市 公園」(千葉市ホームページ)

「ちばの観光まるごと紹介」(公益社団法人 千葉観光物産協会ホームページ)

「佐倉市都市公園一覧」(佐倉市ホームページ)

「四街道市 公園・児童遊園施設」(四街道市ホームページ)

